

# 中小企業景況調査報告書

( 第 114 回 )

平成21年 4 ~ 6 月期 実 績  
平成21年 7 ~ 9 月期 見通し

平成21年 7 月

北海道商工会議所連合会

# 目 次

． 調 査 要 領	
1． 調査時点及び調査対象期間	1
2． 調査対象	1
3． 調査地域及び調査方法	1
4． 業種別・規模別回答状況	1
． 概 況	2
1． 今期の業況	
(1) 今期の業況	5
(2) 今期の売上高	7
(3) 今期の採算（経常利益）	8
(4) 今期の資金繰り	10
(5) 今期の経営上の問題点	11
(6) 今期の従業員の動向	11
(7) 今期の新規設備投資	12
2． 来期の見通し	
(1) 来期の業況	13
(2) 来期の売上高	14
(3) 来期の採算（経常利益）	14
(4) 来期の新規設備投資	15
． 業 種 別 の 動 向	
1． 製 造 業	15
2． 建 設 業	17
3． 卸 売 業	19
4． 小 売 業	20
5． サービス業	22
． 業 種 別 調 査 資 料	24

# 調査要領

## 1. 調査時点及び調査対象期間

- (1) 調査時点 平成21年6月
- (2) 調査対象期間 平成21年4～6月期実績及び平成21年7～9月期の見通し

## 2. 調査対象

### (1) 中小企業景況調査

「製造業・建設業」については、資本金3億円以下、又は従業員300人以下の企業、「卸売業」については、資本金1億円以下、又は従業員100人以下の企業、「小売業」については、資本金5千万円以下、又は従業員50人以下の企業、「サービス業」については、資本金5千万円以下、又は従業員100人以下の企業を対象とした。

### (2) 業界動向調査

商工会議所の景気判断

道内各地商工会議所が相談指導業務等を通じて得られる地域の特徴的事例

「製造業」「建設業」「卸売業」「小売業」「サービス業」の各業界組合・企業が肌で感じる生の声を収集した。

## 3. 調査地域及び調査方法

- 全道商工会議所地域の中小企業に対しアンケート調査を実施（中小企業景況調査）
- 全道商工会議所を通じて地域の業界組合等へヒアリング調査を実施（業界動向調査）

## 4. 業種別・規模別回答状況（社数）

### (1) 中小企業景況調査

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	合計
小規模	42	57	45	68	59	271
中規模	15	13	25	18	32	103
合計	57	70	70	86	91	374
構成比(%)	15.7	18.6	18.6	22.9	24.2	100.0

### (2) 業界動向調査

- ・業界動向ヒアリング先 製造業18社、建設業15社、卸売業7社、  
小売業13社、サービス業28社、合計81社

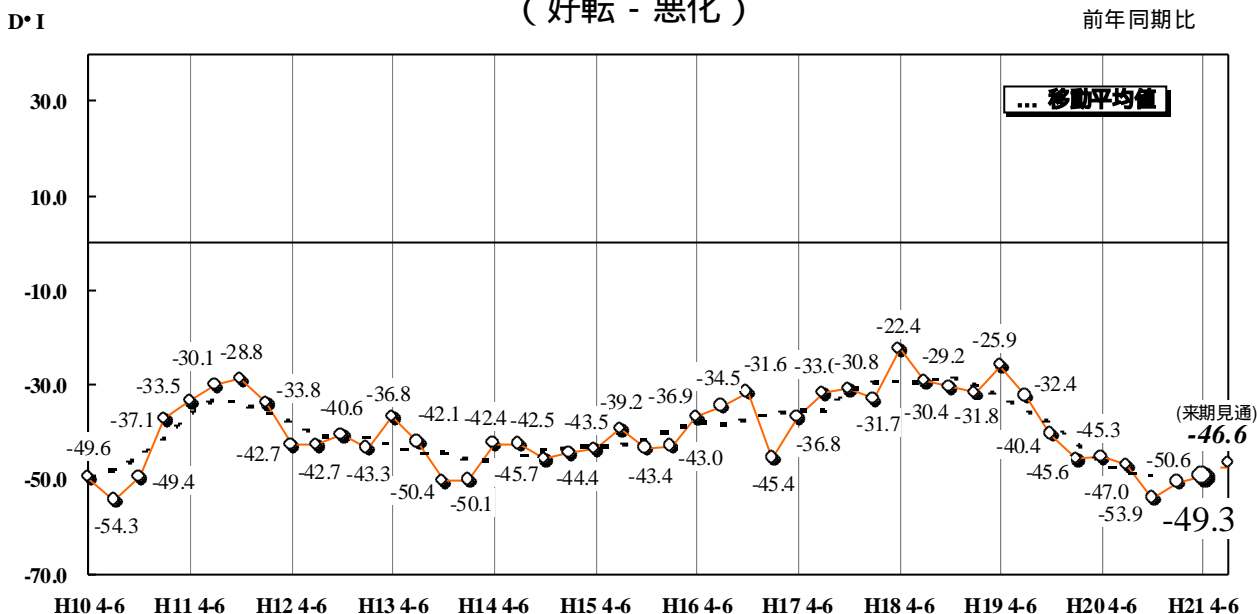
本調査結果中の「D・I」とある記号は、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、各調査項目についての増加（好転・上昇）企業割合から減少（悪化・低下）企業割合を差引いた値（景気動向指数）を示す。

ホームページ：URL <http://www.hokkaido.cci.or.jp/keiki/>

# 概況

- 業況のマイナス幅は若干縮小も景気回復の実感は依然厳しい状況 -

業況推移(全業種平均D・I)  
(好転 - 悪化)



## 今期の業況

四半期毎に実施している、中小企業景況調査の今期(4月～6月期)の全業種平均D・I値(「好転」と答えた企業と「悪化」と答えた企業の割合の差)は、前期比(平成21年1月～3月期の水準と比較した今期の業況)では 31.9、前年同期比(平成20年4月～6月期の水準と比較した今期の業況)では 49.3と、マイナス幅が縮小した。

前回の調査(平成21年1月～3月期)時点からの推移では、全業種平均D・I値は、前年同期比では前回 50.6 今回 49.3と1.3ポイントマイナス幅を若干縮小しているのに対し、前期比では前回 52.4 今回 31.9と20.5ポイントマイナス幅を大幅に改善するという結果となった。

業種別では、前年同期比で製造 37.2、建設 52.9、卸売 50.0、小売 57.2、サービス 49.4となり、製造業・建設業・卸売業でマイナス幅が縮小しているのに対し、小売業・サービス業でマイナス幅が拡大した。

業況を札幌市とそれ以外の地域で見ると、業況D・Iは前年同期比で札幌市 56.3(前回調査 52.4、前々回調査 50.3)、札幌以外の地域 40.9(前回調査 48.9、前々回調査 57.7)となっており、札幌以外の地域では縮小しているものの、札幌市でマイナスの幅が大きくなっている。

来期の業況見通しは、全業種平均D・I値で、前年同期比（平成20年7月～9月期の水準と比較した来期の見通し）では 46.6と、業況は改善する見通しとなっている。

今期の経営上の問題点として上位に挙げられているものは、全業種で「需要の停滞」（製造業45.2%、建設業50.0%、卸売業66.9%、小売業41.0%、サービス業49.8%）が大きな要因となっている他、製造業では「製品(加工)単価の低下・上昇難」（17.0%）、建設業では「請負単価の低下・上昇難」（29.4%）、卸売業では「販売単価の低下・上昇難」（7.6%）、小売業では「販売単価の低下・上昇難」（15.7%）、サービス業では「利用者ニーズの変化への対応」（12.8%）などの問題点が浮上している。

一方、設備投資の状況については、今期、新たに設備投資を行った企業は全業種平均で13.9%と、前回調査時（9.5%）より4.4%上昇と全業種で前回調査時を上回っているが、来期新規設備を投入する予定と回答した企業は全業種平均で7.4%と、慎重な動きとなっている。

## 産業別の動向

【製造業】 [業況D・I値（前年同期比） 37.2（来期見通し 44.7）]

業況D・I値（前年同期比）の前回の調査（平成21年1月～3月期）時点からの推移では、前回 42.2 今回 37.2と5.0ポイントマイナス幅が縮小した。

業界組合・企業よりのコメントでは、依然「需要の停滞」による採算悪化の声が多いが、一部の企業からは「原材料価格の値下げ」により業況が好転したなどの声も寄せられている。

〔主なコメント〕

- ・先行きの不安から、新商品開発に向けた試験研究費に予算を割くことができない。（製造業）
- ・天候不順のため、農産関係の包装資材の売上・受注が減少した。（製造業）
- ・原材料価格の低下が進み、業況は好転した。来期も主力商品の引き合いが見込まれることからさらに業況がよくなる見込み。（製造業）
- ・生産調整により工場の生産ラインの休止を行う等、生産計画に危機的な影響を及ぼしている。

（紙・パルプ製造業）

【建設業】 [業況D・I値（前年同期比） 52.9（来期見通し 39.4）]

業況D・I値（前年同期比）の前回の調査（平成21年1月～3月期）時点からの推移では、前回 54.4 今回 52.9と1.5ポイントマイナス幅が縮小した。

業界組合・企業よりのコメントでは、「公共工事や新築工事の減少」「競争の激化」による売上の低下を訴える声が目立つ。

〔主なコメント〕

- ・多くの下請企業で受注減少が続き、大幅なコスト削減に踏み切らざるを得ず、従業員の解雇等 人件費削減で凌いでいる状況。（建設業）
- ・一般住宅の動きは鈍い状況が続いており、緊急経済対策による発注に期待している。（建設業）
- ・今年に入り住宅産業は依然厳しい状況が続いており、建築確認申請も伸びていない。（建設業）
- ・入札に参加しても競争の激化により、適正利益を確保できない。新業種への参入も検討している。（建設業）

【卸売業】 [業況D・I値(前年同期比) 50.0(来期見通 50.7)]

業況D・I値(前年同期比)の前回の調査(平成21年1月~3月期)時点からの推移では、前回 54.5 今回 50.0と4.5ポイントマイナス幅が縮小した。

業界組合・企業よりのコメントでは、依然「他業種の廃業」により収益が減少したとの声が多い。

〔主なコメント〕

- ・全体的に低調に推移しており、来期以降の不透明感は一層増している。(卸売業)
- ・食品原材料卸、食品加工卸では売上増加が見られるが、他業種では減少傾向が続いている。(卸売業)
- ・定額給付金による地域商品券の効果は直接感ずることなく、例年通りで推移している。(卸売業)
- ・丸井今井の閉店の影響により、商店街の客足の減少を懸念している。(卸売業)

【小売業】 [業況D・I値(前年同期比) 57.2(来期見通 50.7)]

業況D・I値(前年同期比)の前回の調査(平成21年1月~3月期)時点からの推移では、前回 53.3 今回 57.2と3.9ポイントマイナス幅が拡大した。

業界組合・企業よりのコメントでは、「大型店の影響」「個人消費の低迷」などによる売上の減少を訴える声が目立った。

〔主なコメント〕

- ・人口減少により購買力が落ち、依然厳しい状況が続いている。(小売業)
- ・地元大型店の影響が強く、商店街等への流入客が極端に減少している。(小売業)
- ・景気の低迷により春物の売れ行きはさっぱりだった。夏物についても気温が上がらず出足が鈍い。(小売業)
- ・市で発行した商品券の効果で、発行当初は売上も伸びたが、しばらくすると平年並みに落ち着いた。(小売業)
- ・インフルエンザの影響など、観光需要の落ち込みが深刻である。例年売上を上げているGW期間中が予想以上に客足が伸びず苦戦した。(土産物品屋)

【サービス業】 [業況D・I値(前年同期比) 48.5(来期見通 47.2)]

業況D・I値(前年同期比)の前回の調査(平成21年1月~3月期)時点からの推移では、前回 48.4 今回 48.5とほぼ横ばいで推移した。

業界組合・企業よりのコメントでは、「需要の停滞」による採算・業況悪化の声に加え、観光業界では「新型インフルエンザの影響」による観光客の減少を訴える声が見られた。

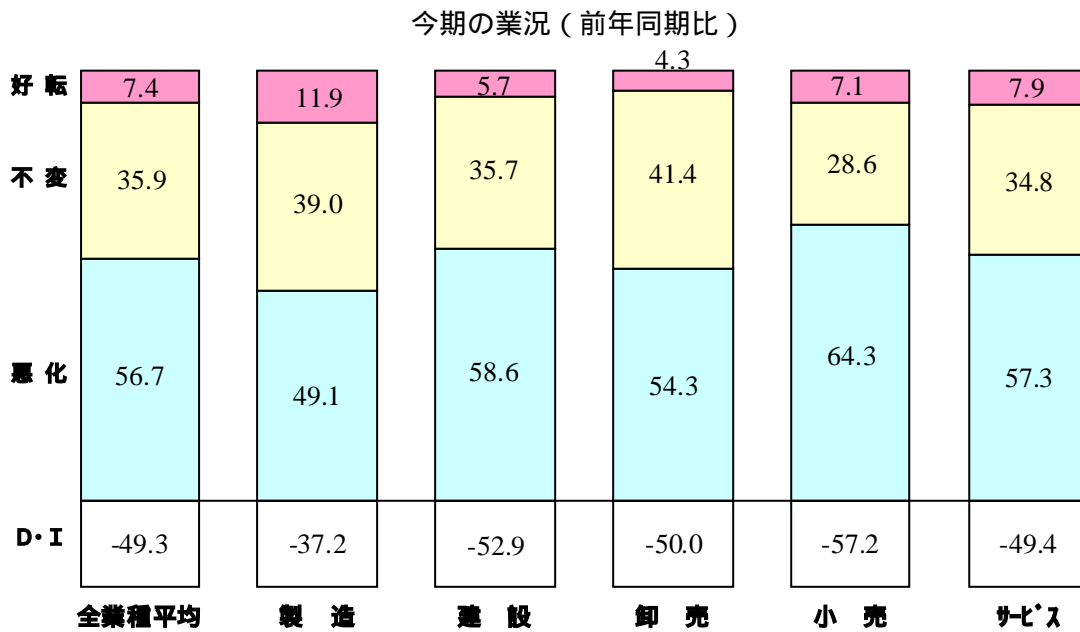
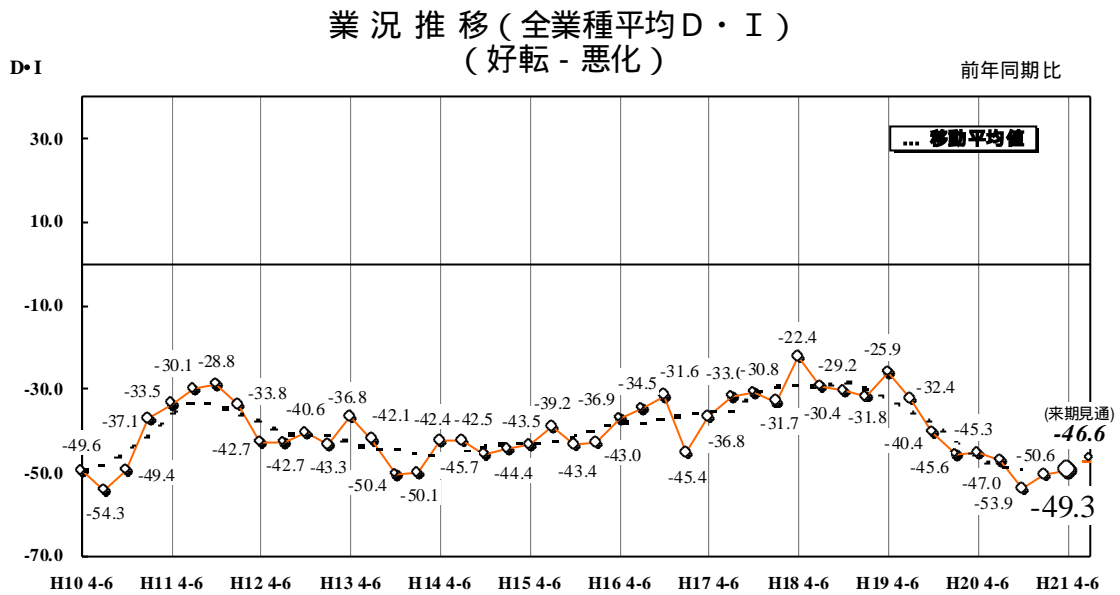
〔主なコメント〕

- ・景気の先行き不安に加え新型インフルエンザの影響により、旅行手控えムードになり旅行者の減少が続いている。(サービス業)
- ・飲食店関係は経済不況による売上の減少や後継者不足の問題で自主廃業が多く目立つ。(飲食店)
- ・販路開拓に努めているが、堅くなった財布のひもはなかなか開けない。異業種連携を行い新商品開発に取り組み状況を打開したい。(飲食店)
- ・低料金で設定しているが、旅行客の減少で需要と供給のバランスが崩れ、採算は悪化するばかりである。(ハイヤー協会)

# 1. 今期の業況

## (1) 今期の業況

【前年同期比】（平成20年4～6月期の水準と比較した今期の業況）

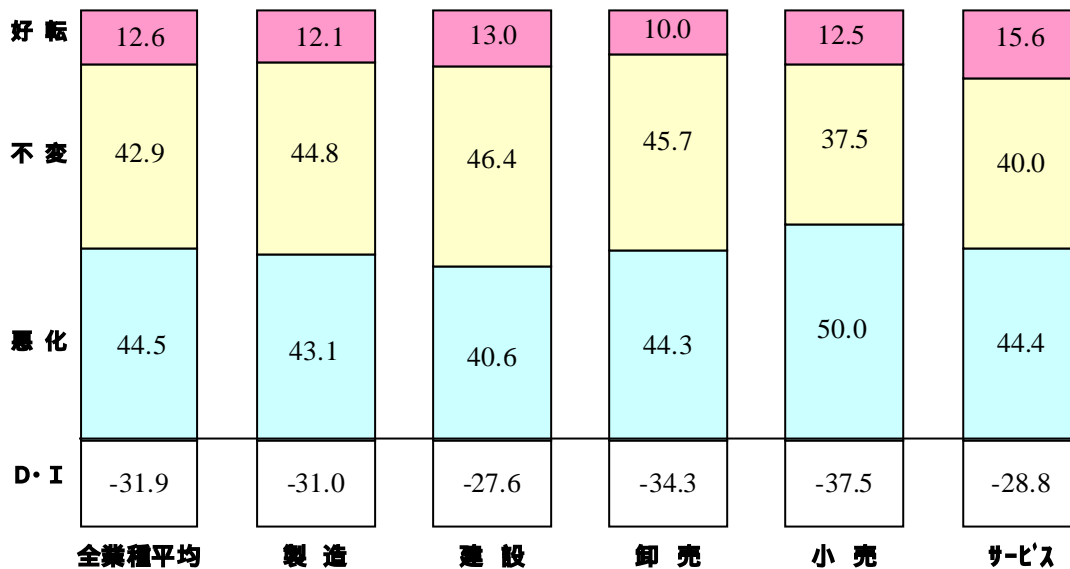


全業種平均でD・I値 **49.3**〔前回調査時（平成21年1～3月期 50.6）より1.3ポイントマイナス幅が縮小〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 42.2 37.2〕、建設〔前回 54.4 52.9〕  
卸売〔前回 54.5 50.0〕、小売〔前回 53.3 57.2〕  
サービス〔前回 48.4 49.4〕

【前期比】（平成21年1～3月期の水準と比較した今期の業況）

今期の業況（前期比）

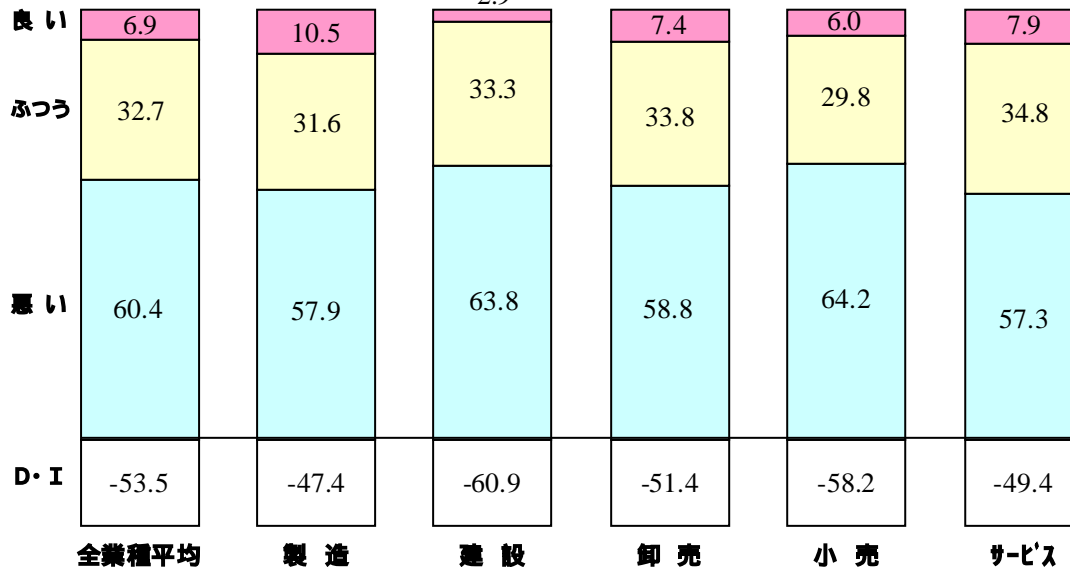


全業種平均でD・I値 31.9〔前回調査時（平成21年1～3月期 52.4）より20.5ポイントマイナス幅が縮小〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 42.1 31.0〕、建設〔前回 52.9 27.9〕  
卸売〔前回 56.6 34.4〕、小売〔前回 60.5 37.5〕  
サービス〔前回 49.9 28.8〕

【今期の水準】

今期の業況（今期の水準）  
2.9



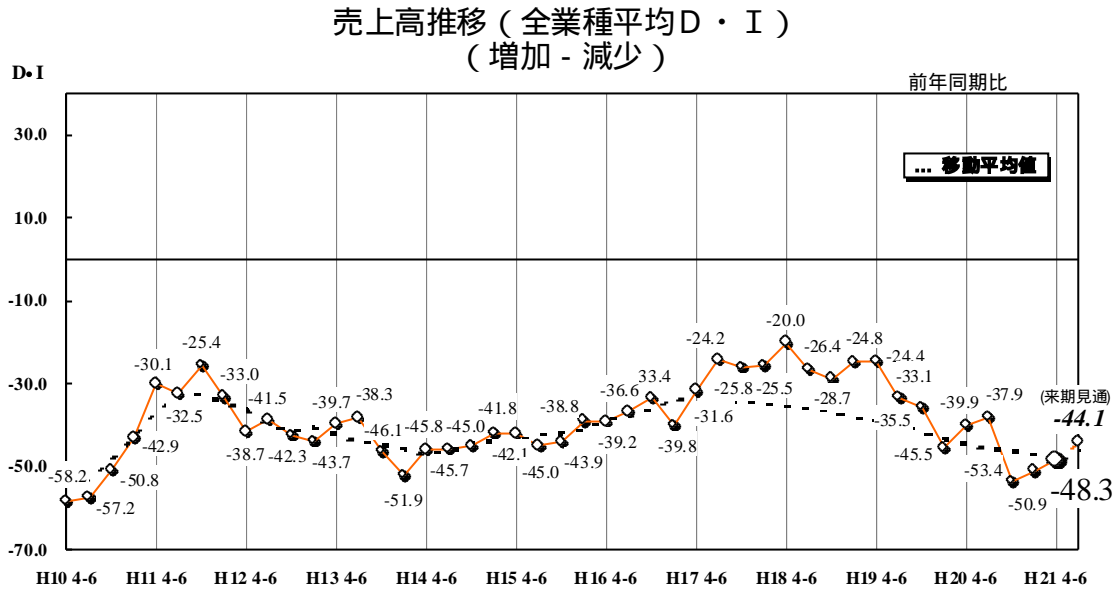
全業種平均でD・I値 53.5〔前回調査時（平成21年1～3月期 59.6）より6.1ポイントマイナス幅が縮小〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 57.9 47.4〕、建設〔前回 54.4 60.9〕  
卸売〔前回 63.6 51.4〕、小売〔前回 67.8 58.2〕  
サービス〔前回 54.1 49.4〕

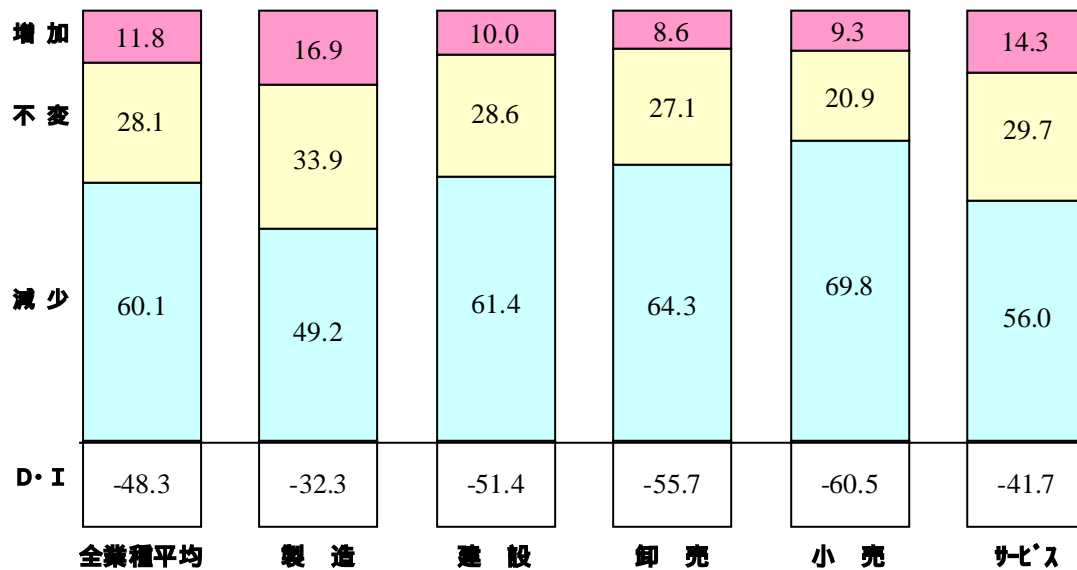


(2) 今期の売上高

【前年同期比】（平成20年4～6月期の水準と比較した今期の売上高）



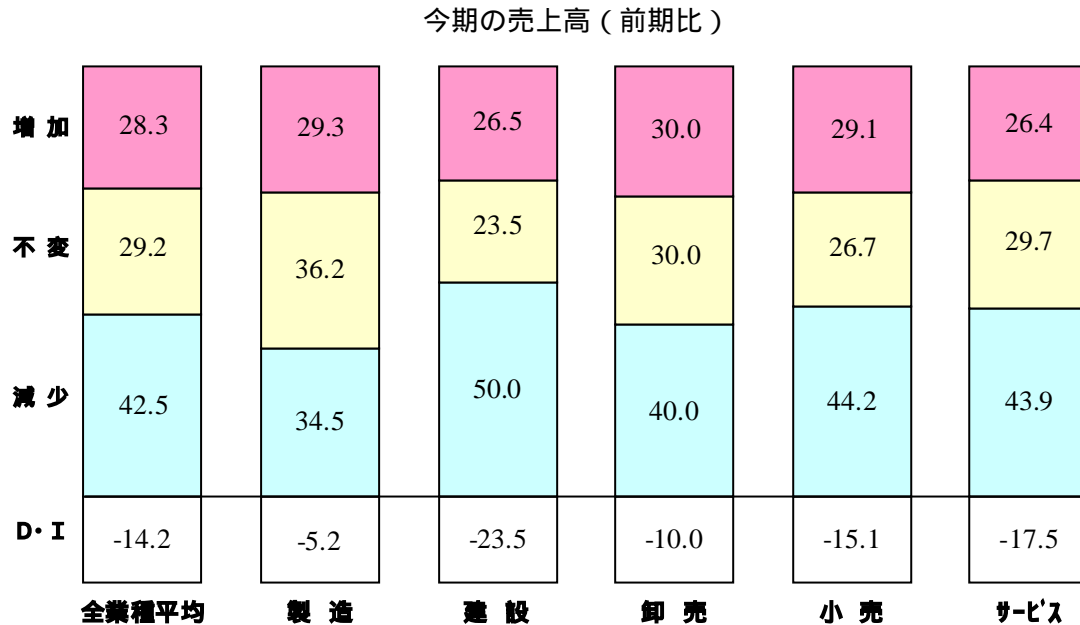
今期の売上高（前年同期比）



全業種平均でD・I値 **48.3**〔前回調査時（平成21年1～3月期 50.9）より2.6ポイントマイナス幅が縮小〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 33.3 32.3〕、建設〔前回 58.0 51.4〕  
卸売〔前回 51.2 55.7〕、小売〔前回 54.5 60.5〕  
サービス〔前回 57.7 41.7〕

【前期比】（平成21年1～3月期の水準と比較した今期の売上高）

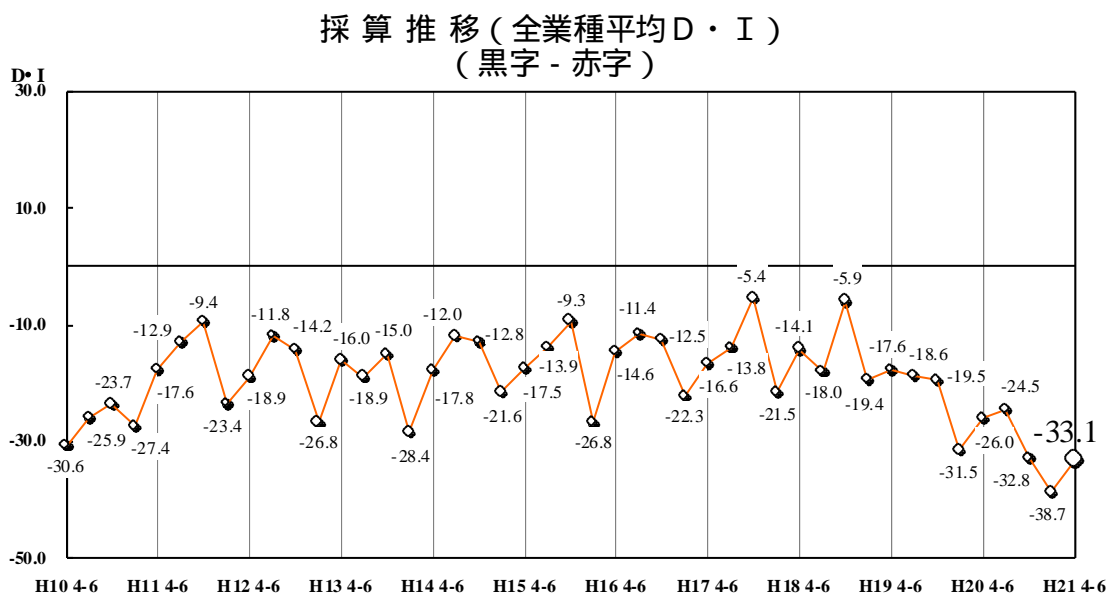


全業種平均でD・I値 14.2〔前回調査時（平成21年1～3月期 65.1）より50.9ポイントマイナス幅が縮小〕。

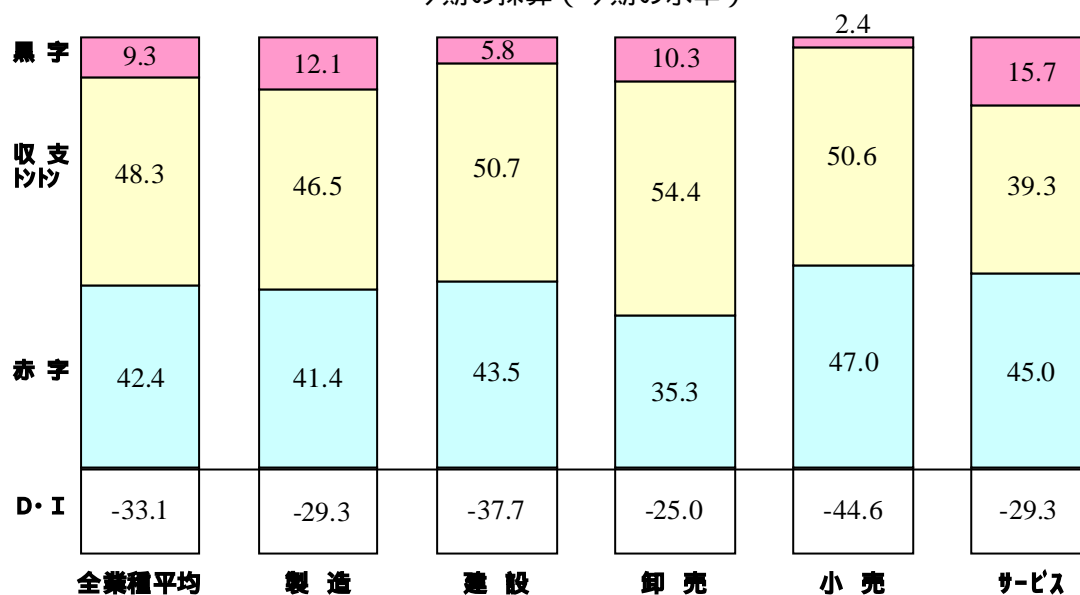
〔業種別D・I値〕 製造〔前回 64.4 5.2〕、建設〔前回 69.2 23.5〕  
 卸売〔前回 68.5 10.0〕、小売〔前回 69.0 15.1〕  
 サービス〔前回 54.4 17.5〕

(3) 今期の採算（経常利益）

【今期水準】



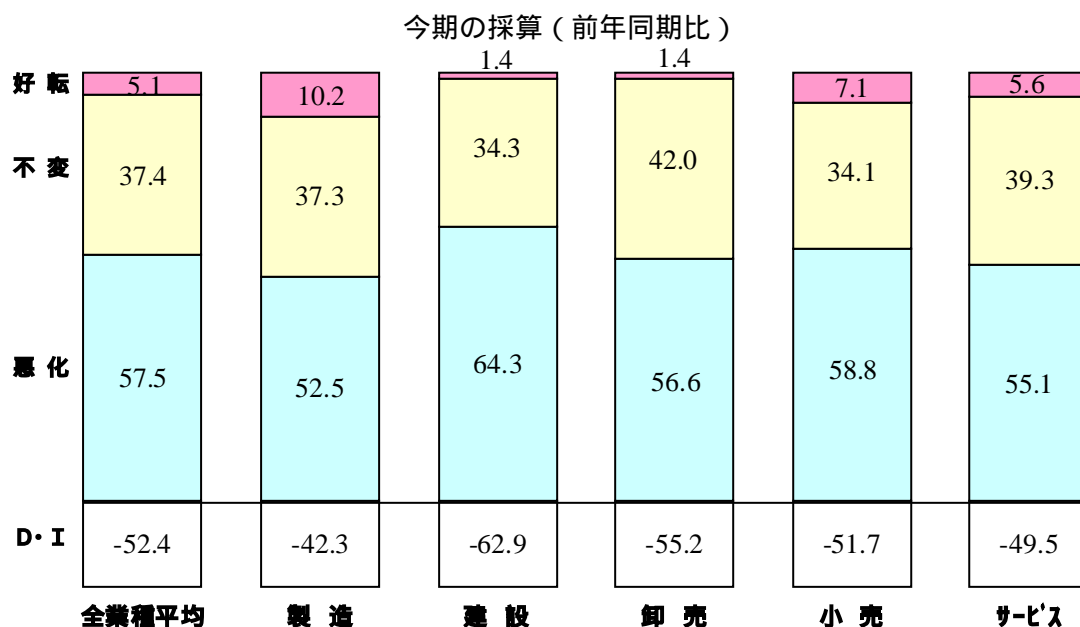
今期の採算（今期の水準）



全業種平均でD・I値 **33.1**〔前回調査時（平成21年1～3月期 38.7）より5.6ポイントマイナス幅が縮小〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 36.8 29.3〕、建設〔前回 33.9 37.7〕  
卸売〔前回 31.2 25.0〕、小売〔前回 54.7 44.6〕  
サービス〔前回 36.8 29.3〕

【前年同期比】（平成20年4～6月期の水準と比較した今期の採算）

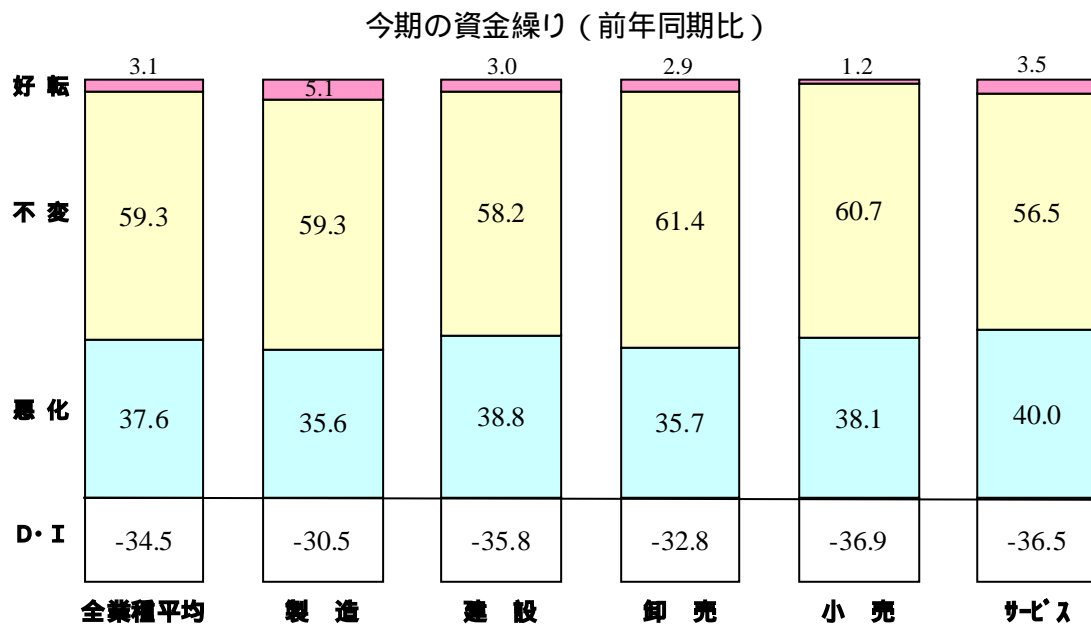
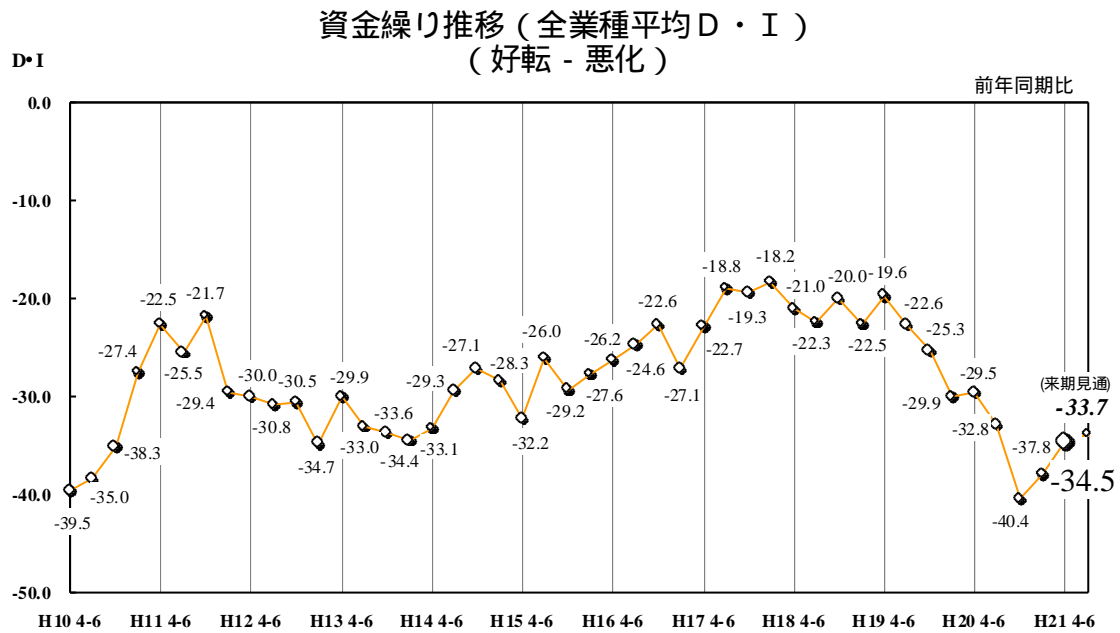


全業種平均でD・I値 **52.4**〔前回調査時（平成21年1～3月期 55.6）より3.2ポイントマイナス幅が縮小〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 51.9 42.3〕、建設〔前回 56.5 62.9〕  
卸売〔前回 56.3 55.2〕、小売〔前回 56.8 51.7〕  
サービス〔前回 56.3 49.5〕

(4) 今期の資金繰り

【前年同期比】（平成20年4～6月期の水準と比較した今期の資金繰り）



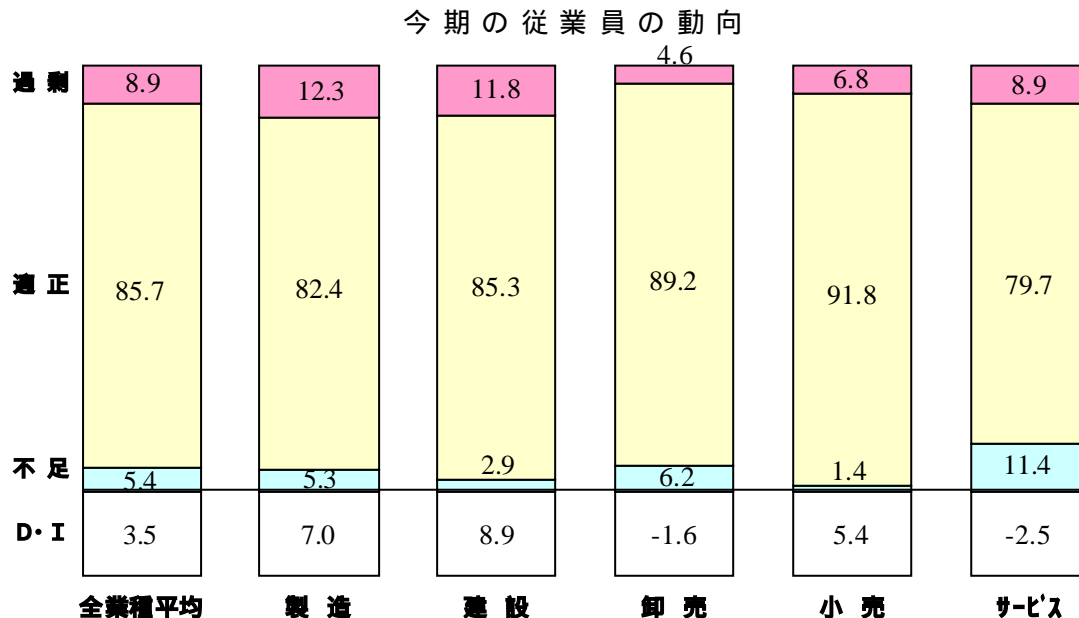
全業種平均でD・I値 **34.5**〔前回調査時（平成21年1～3月期 37.8）より3.3ポイントマイナス幅が縮小〕。前回調査時に比べ、D・Iはマイナス幅が若干縮小しているが、総じて全業種ともに不変とする回答が過半数を超えている。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 37.3 30.5〕、建設〔前回 42.6 35.8〕  
卸売〔前回 25.6 32.8〕、小売〔前回 42.9 36.9〕  
サービス〔前回 40.2 36.5〕

(5) 今期の経営上の問題点 (1位に挙げられた項目)

製造業	「需要の停滞」	(45.2%) [前回 49.0%]
	「製品(加工)単価の低下・上昇難」	(17.0%) [前回 11.3%]
	「原材料価格の上昇」	(7.5%) [前回 24.5%]
建設業	「請負単価の低下・上昇難」	(29.4%) [前回 17.9%]
	「民間需要の停滞」	(29.4%) [前回 29.7%]
	「官公需要の停滞」	(20.6%) [前回 20.9%]
卸売業	「需要の停滞」	(66.9%) [前回 57.6%]
	「販売単価の低下・上昇難」	(7.6%) [前回 14.9%]
小売業	「需要の停滞」	(41.0%) [前回 42.9%]
	「販売単価の低下・上昇難」	(15.7%) [前回 11.9%]
	「大型・中型店進出競争の激化」	(14.5%) [前回 15.5%]
サービス業	「需要の停滞」	(49.8%) [前回 37.5%]
	「利用者ニーズの変化への対応」	(12.8%) [前回 14.5%]
	「店舗施設の狭隘・老朽化」	(7.0%) [前回 2.4%]

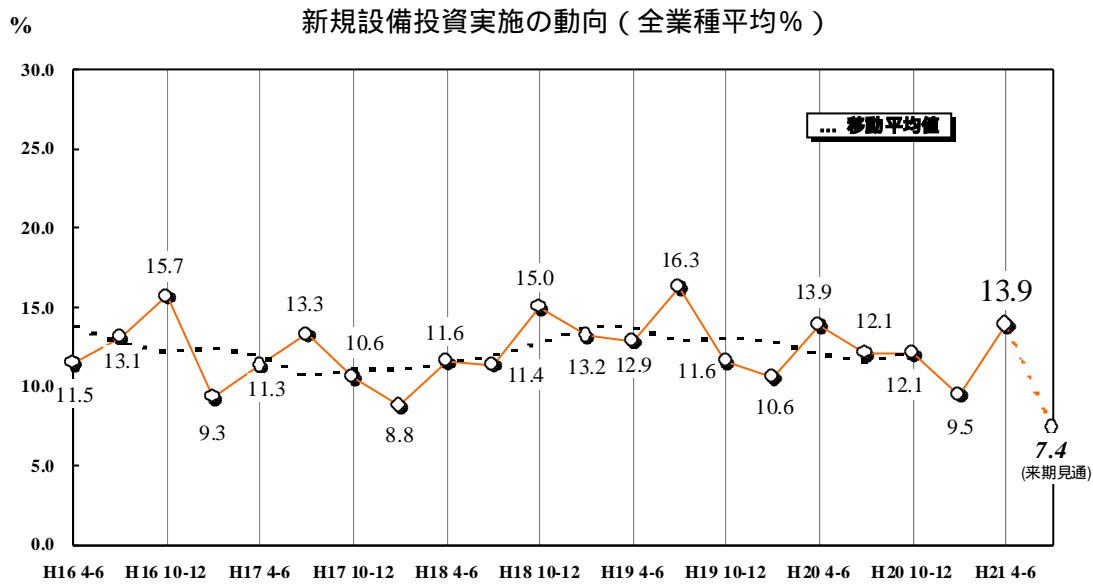
(6) 今期の従業員の動向



全業種平均でD・I値では3.5〔前回調査時(平成21年1~3月期6.3)〕と、前回調査時に比べ「過剰」「不足」と回答する企業が減少し、「適正」(85.7%)とする企業が大勢を占めている。

[業種別D・I値] 製造〔前回10.5 7.0〕(適正85.7%)  
 建設〔前回13.2 8.9〕(適正82.4%)  
 卸売〔前回 4.1 1.6〕(適正85.3%)  
 小売〔前回 1.3 5.4〕(適正91.8%)  
 サービス〔前回5.0 2.5〕(適正79.7%)

(7) 今期の新規設備投資



今期の新規設備投資の動向

（単位％）

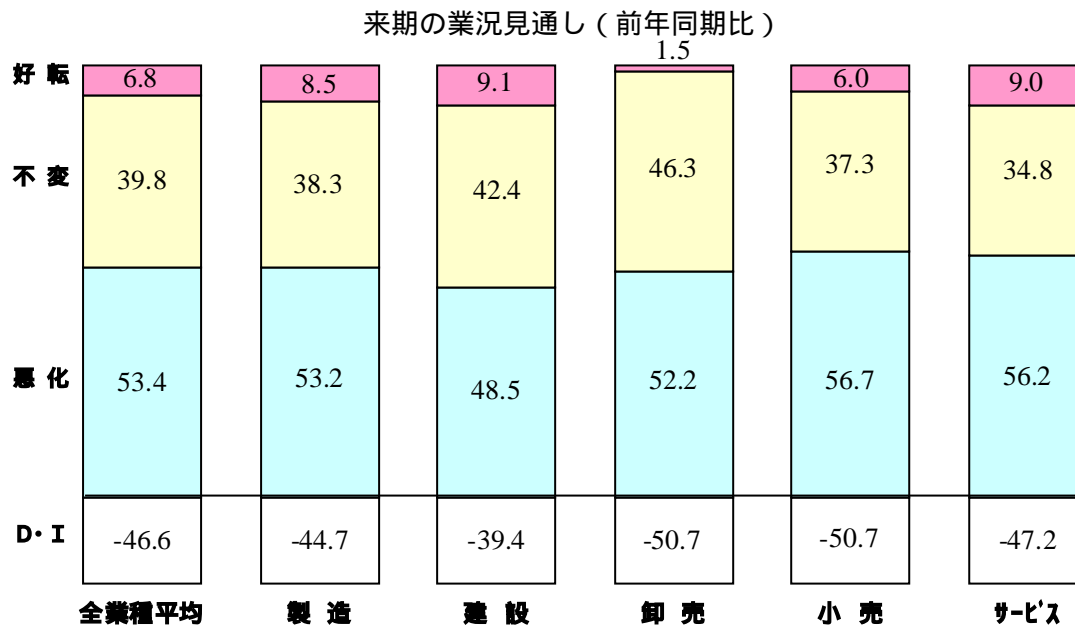
	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	全業種平均
実施した	16.9	12.9	8.6	11.9	19.1	13.9
土地	0.0	0.0	0.0	10.0	10.0	4.0
工場建物、建物、店舗	0.0	11.1	0.0	40.0	5.9	11.4
生産・販売・サービス設備、建設機械	70.0	11.1	16.7	20.0	17.6	27.1
車両運搬具	20.0	11.1	50.0	0.0	23.5	20.9
倉庫・駐車場等の付帯施設	10.0	11.1	0.0	0.0	29.4	10.1
O A 機器	10.0	55.6	16.7	30.0	47.1	31.9
厚生施設	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0
その他	20.0	11.1	16.7	20.0	11.8	15.9
実施していない	83.1	87.1	91.4	88.1	80.9	86.1

新たに設備投資を実施した企業は平均で**13.9%**〔前回調査時（平成21年1～3月期9.5%）〕、業種別では製造〔前回14.0% 16.9%〕、建設〔前回10.1% 12.9%〕、卸売〔前回6.8% 8.6%〕、小売〔前回4.5% 11.9%〕、サービス〔前回12.2% 19.1%〕と、全業種で前回調査時の水準を上回った。

## 2. 来期の見通し

### (1) 来期の業況

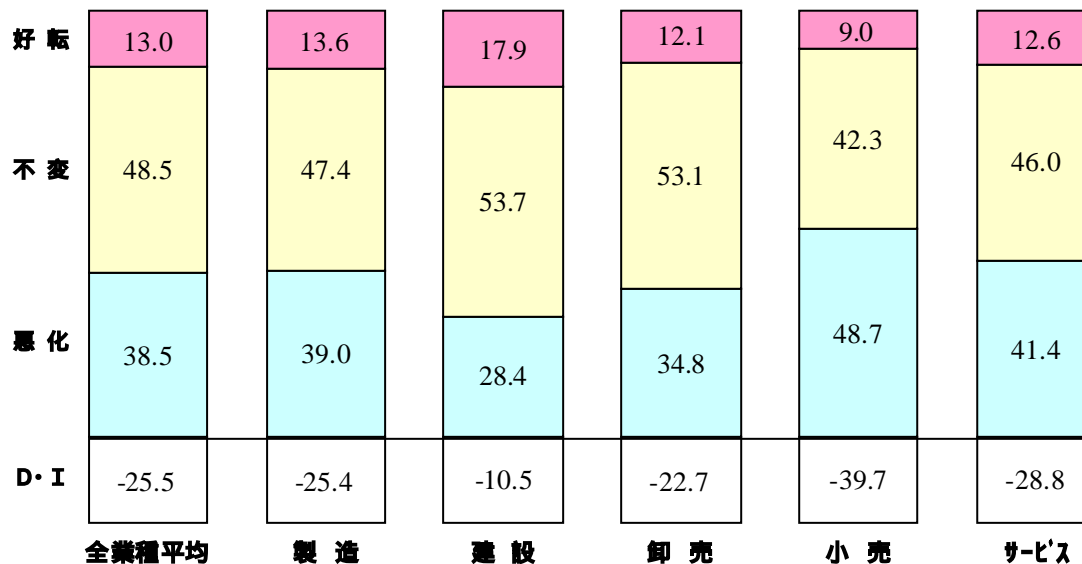
【前年同期比】（平成20年7～9月期の水準と比較した来期の見通し）



全業種平均でD・I値 **49.3**〔今期の業況（前年同期比 46.6）より2.7ポイントマイナス幅が悪化する見通し〕。

【今期比】（平成21年4～6月期の水準と比較した来期の見通し）

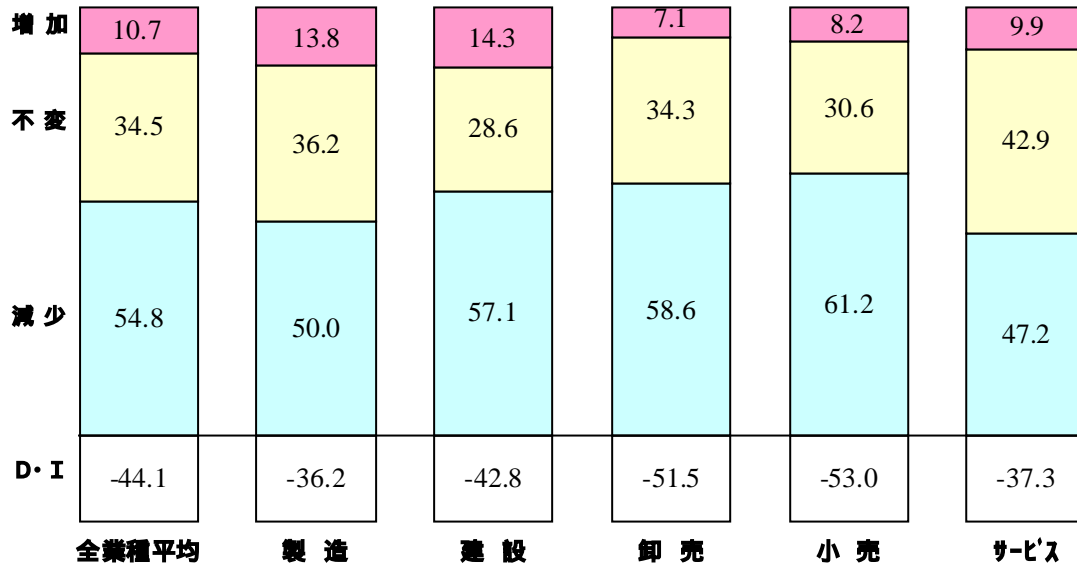
来期の業況見通し（今期比）



(2) 来期の売上高

【前年同期比】（平成20年7～9月期の水準と比較した来期の見通し）

来期の売上高見通し（前年同期比）

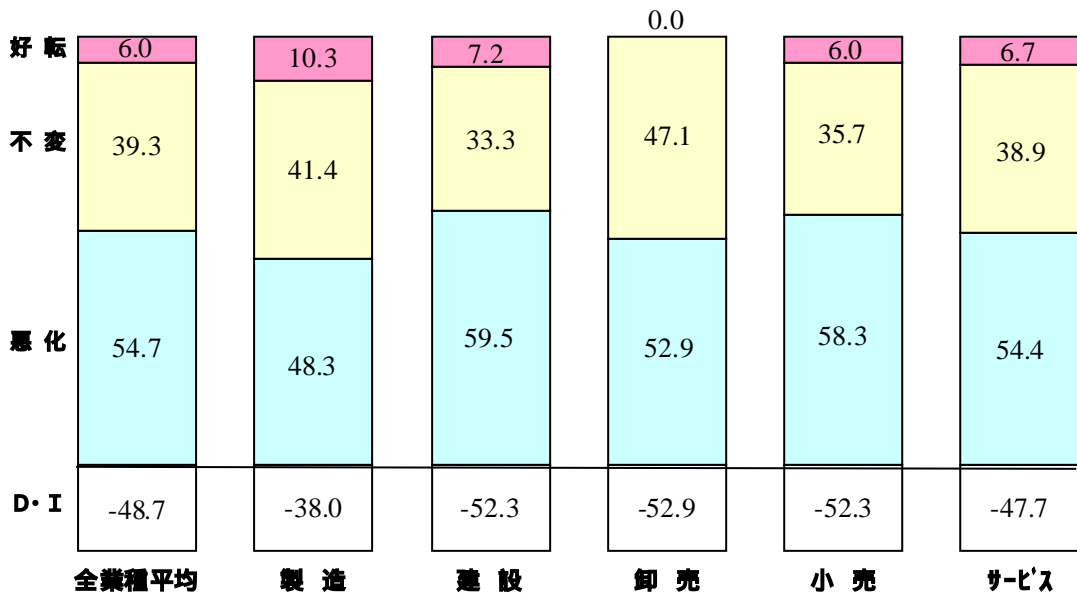


全業種平均でD・I値 44.1〔今期の売上高（前年同期比 48.3）より4.2ポイントマイナス幅が縮小する見通し〕。

(3) 来期の採算（経常利益）

【前年同期比】（平成20年7～9月期の水準と比較した来期の見通し）

来期の採算見通し（前年同期比）



全業種平均でD・I値 48.7〔今期の採算（前年同期比 52.4）より3.7ポイントマイナス幅が縮小する見通し〕。



## (4) 来期の新規設備投資

### 来期の新規設備投資の動向

(単位%)

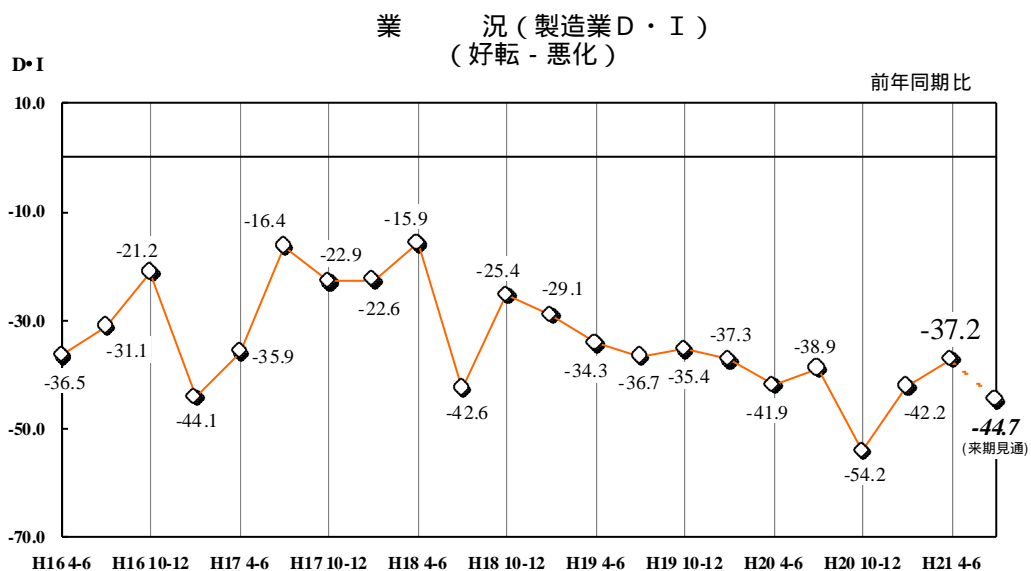
	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	全業種平均
実施する	6.8	8.6	8.8	7.1	5.6	7.4
土地	0.0	0.0	0.0	16.7	40.0	11.3
工場建物、建物、店舗	0.0	16.7	0.0	33.3	60.0	22.0
生産・販売・サービス設備、建設機械	75.0	16.7	0.0	50.0	20.0	32.3
車両運搬具	25.0	50.0	66.7	16.7	60.0	43.7
倉庫・駐車場等の付帯施設	0.0	16.7	0.0	16.7	20.0	10.7
O A 機器	0.0	0.0	33.3	16.7	20.0	14.0
厚生施設	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0	6.7
実施しない	93.2	91.4	91.2	92.9	94.4	92.6

新たに設備投資を予定している企業は全業種平均で**7.4%**となっており、今期(13.9%)を下回る見通し。

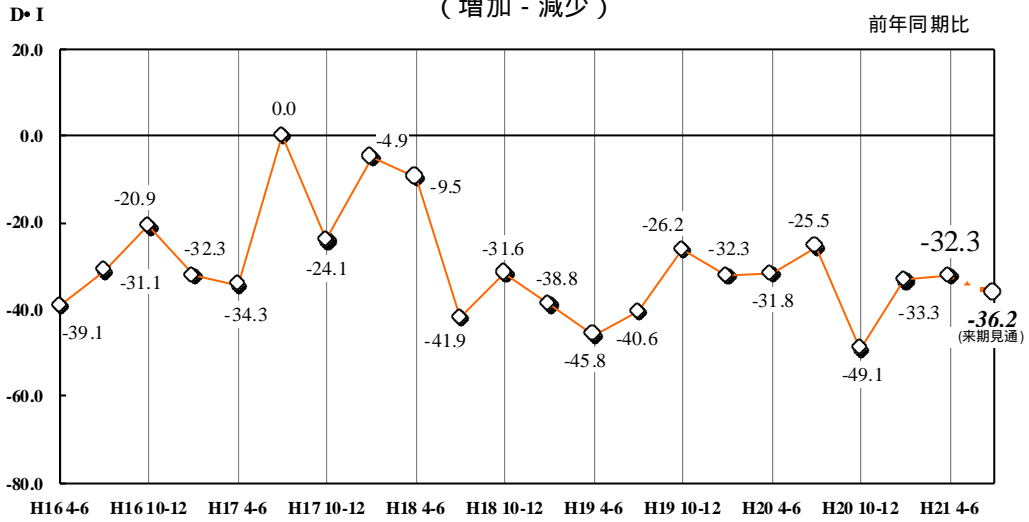
業種別では、製造〔今期16.9% 6.8%〕、建設〔今期12.9% 8.6%〕、卸売〔今期8.6% 8.8%〕、小売〔今期11.9% 7.1%〕、サービス〔今期19.1% 5.6%〕となっている。

## 業種別の動向

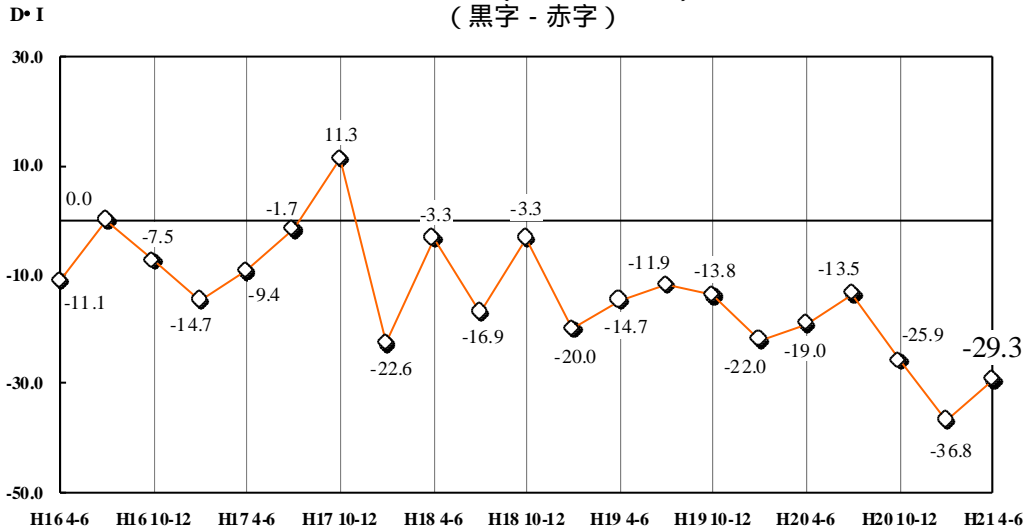
### (1) 製造業



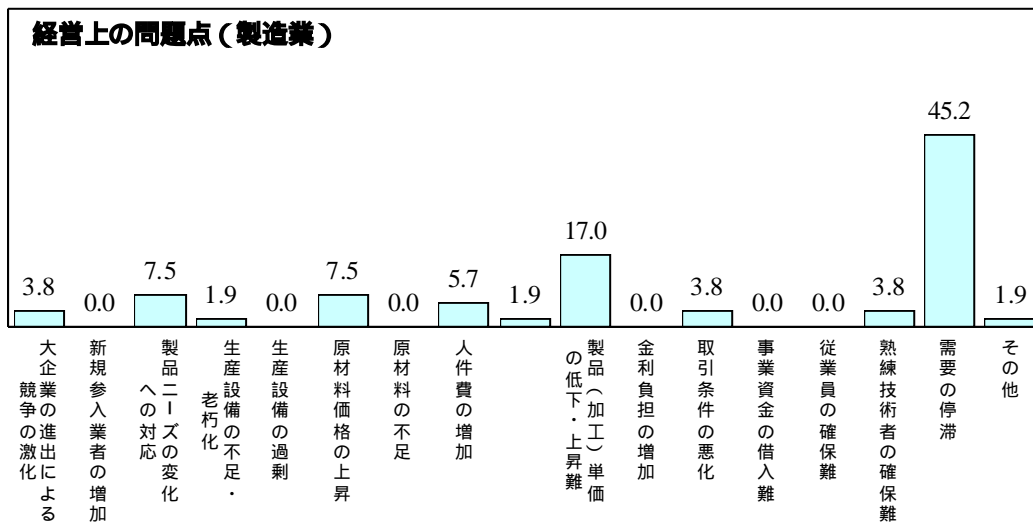
売上高（製造業D・I）  
（増加 - 減少）



採算（製造業D・I）  
（黒字 - 赤字）



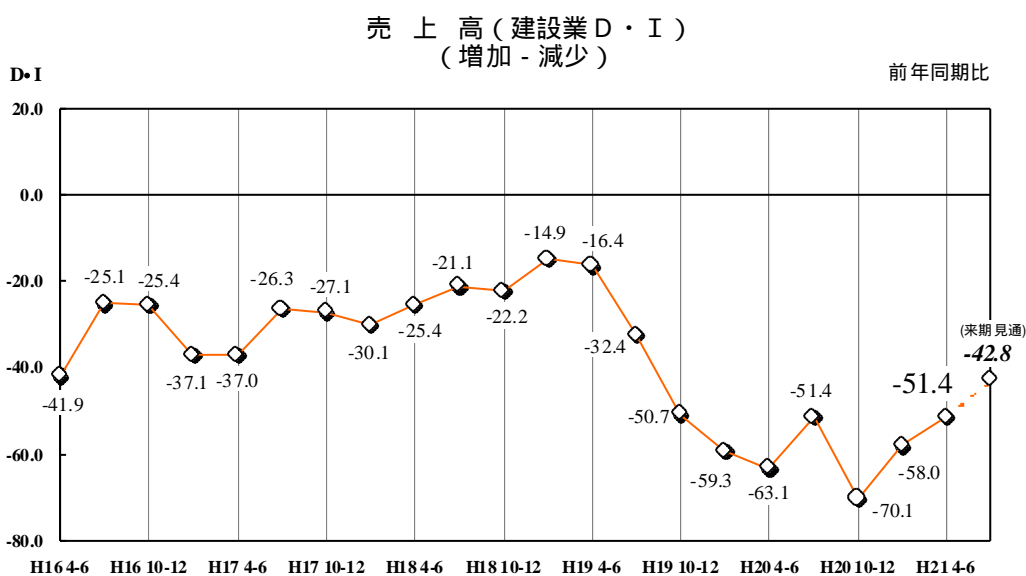
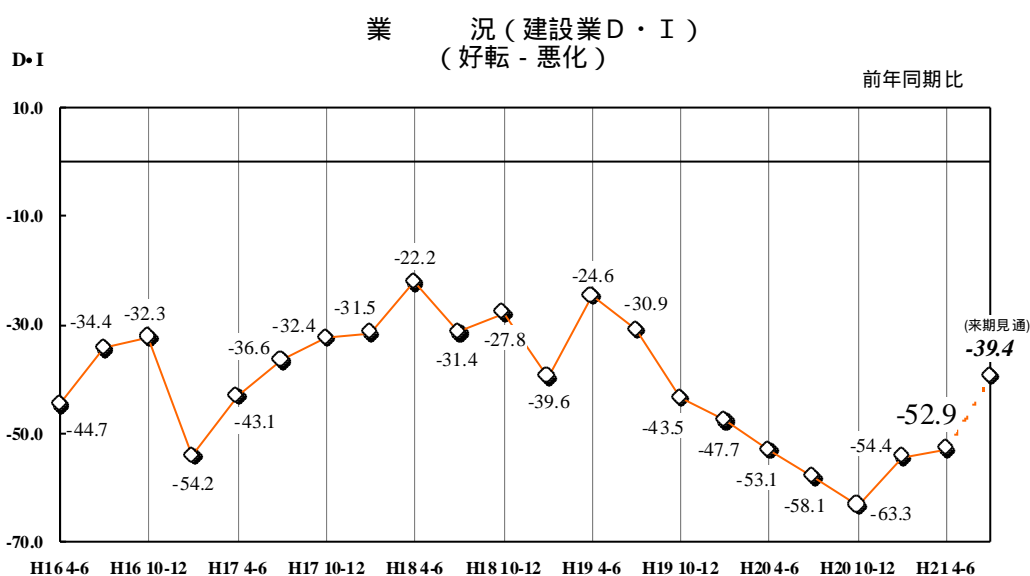
経営上の問題点

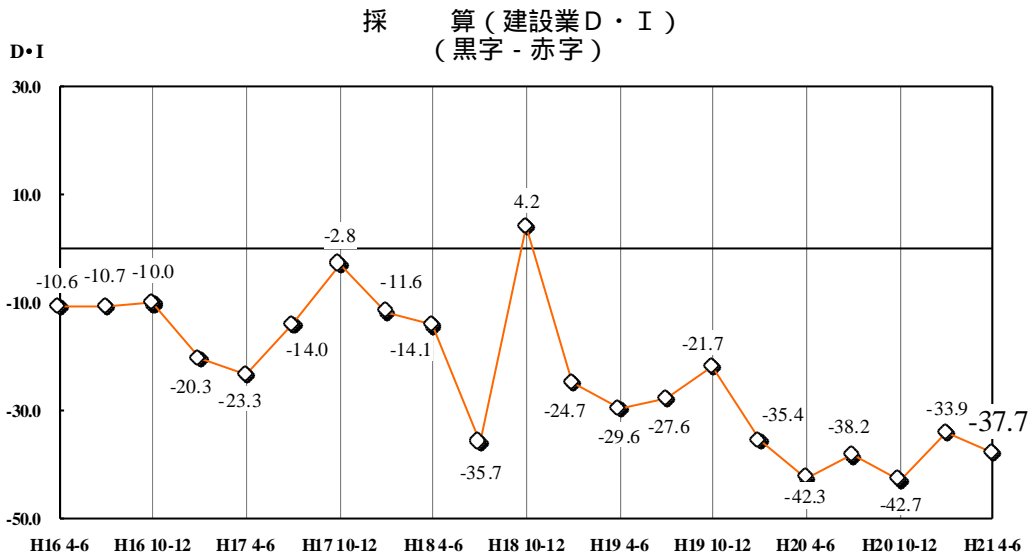


その他 (D・I値)

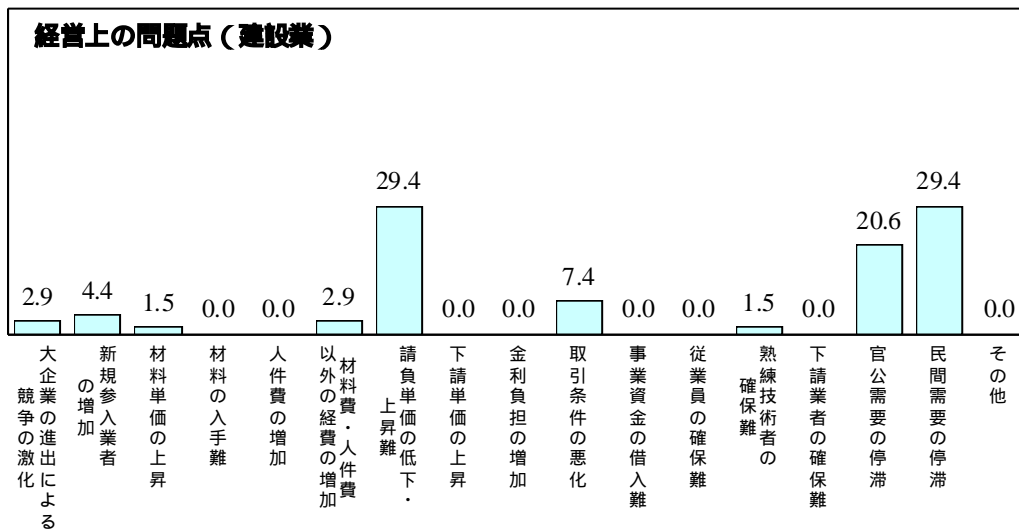
	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	30.5	19.3	34.5 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	17.6	19.3 (今期比)
短期 〃	-----	16.0	15.6 (今期比)
設 備 操 業 率	29.1	-----	33.3 (前年同期比)

(2) 建 設 業





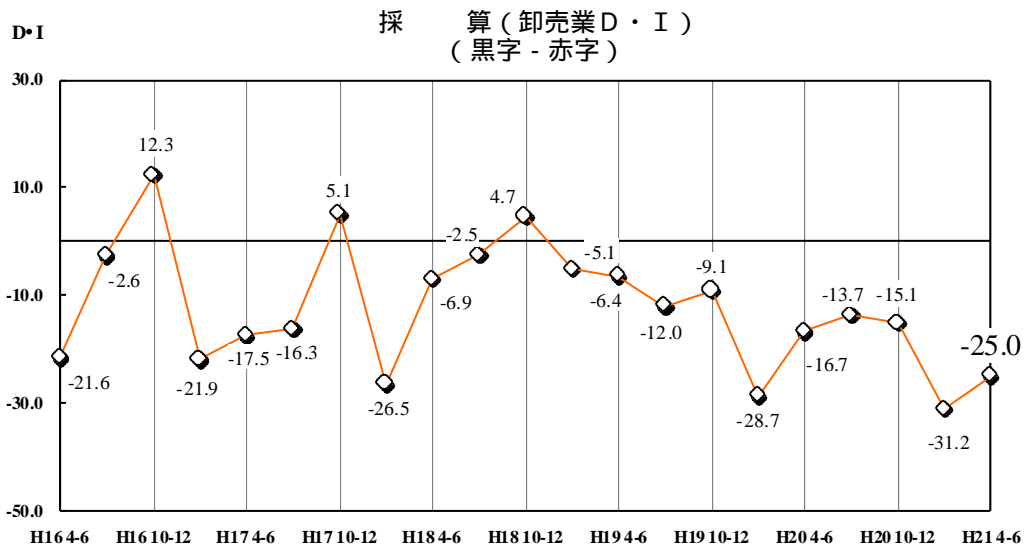
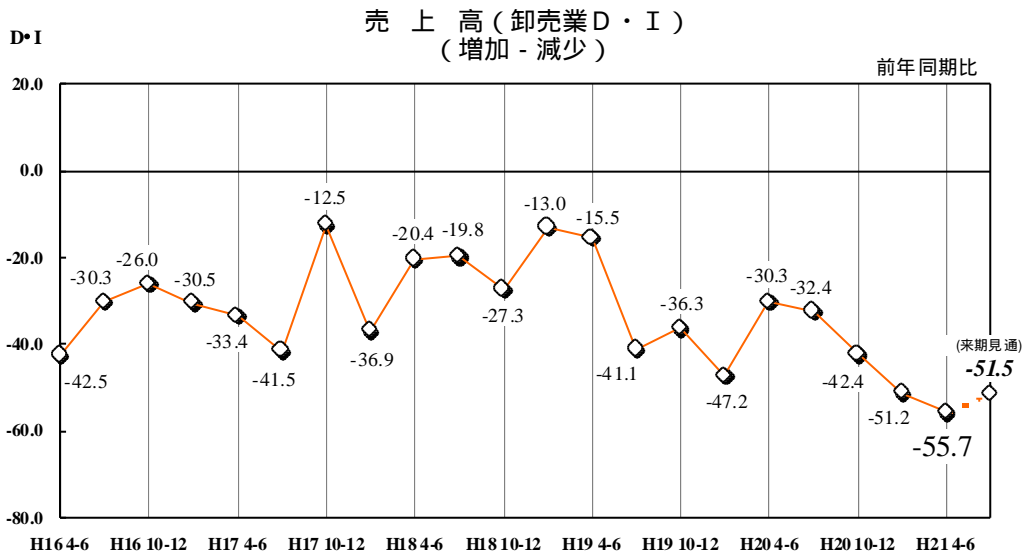
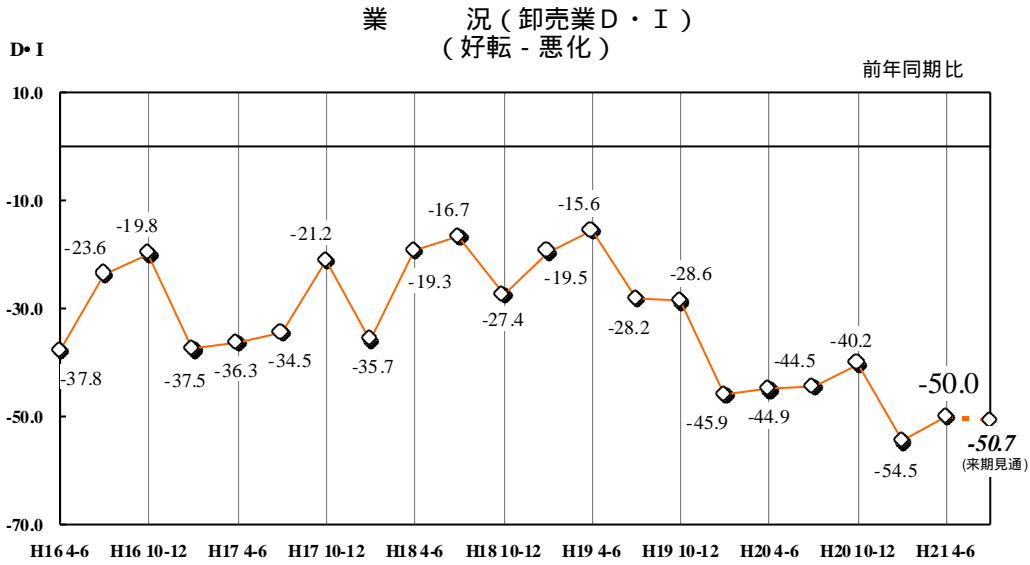
### 経営上の問題点



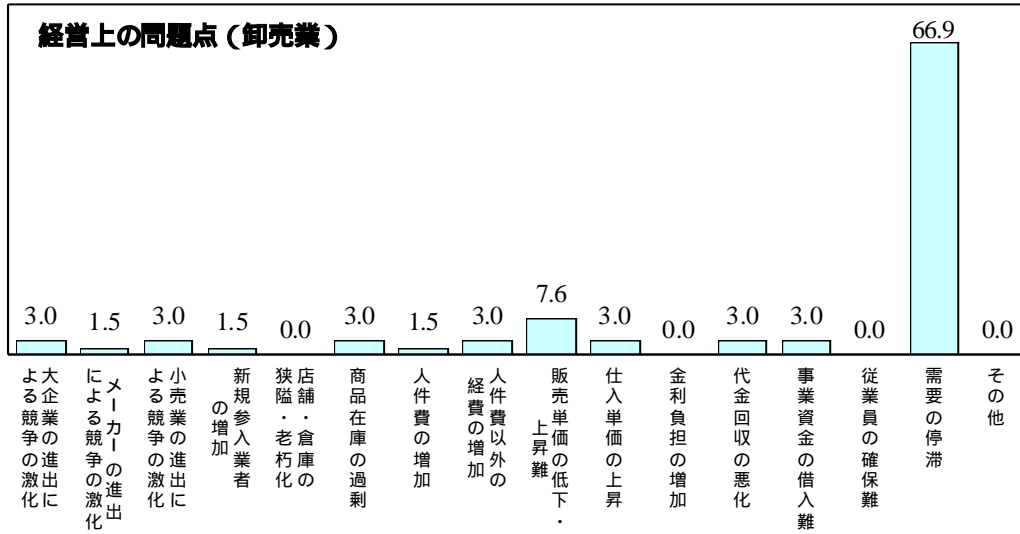
### その他 (D・I値)

	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	35.8	26.8	27.5 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	9.6	11.1 (今期比)
短期 "	-----	6.6	9.8 (今期比)
受注(新規契約工事)額	44.2	-----	40.6 (前年同期比)

### (3) 卸 売 業



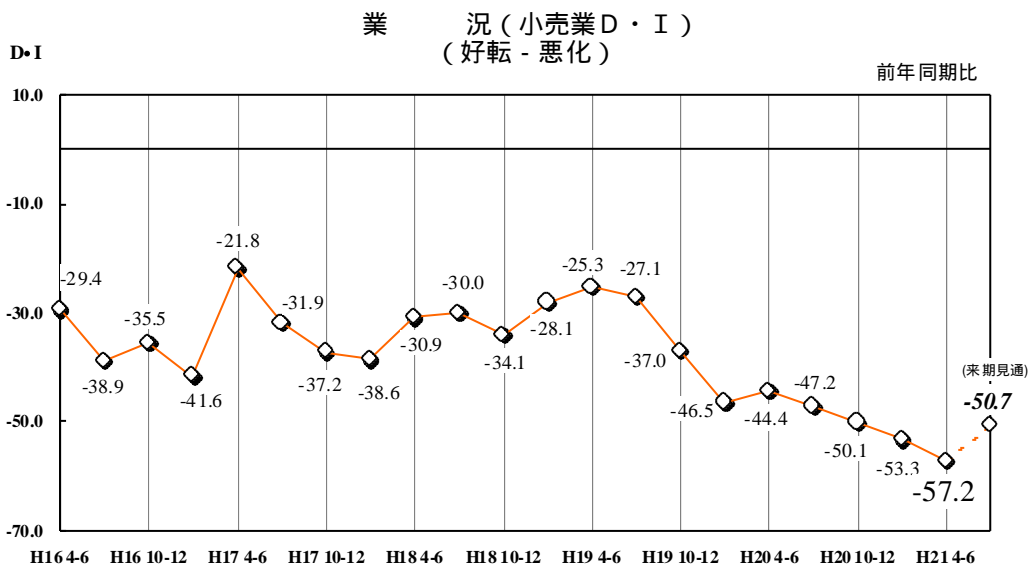
## 経営上の問題点

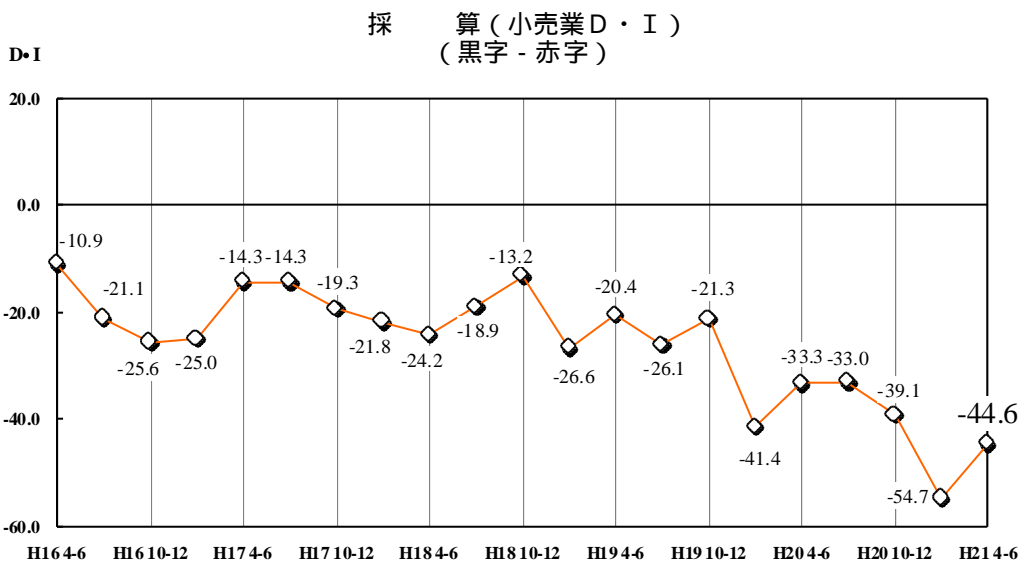
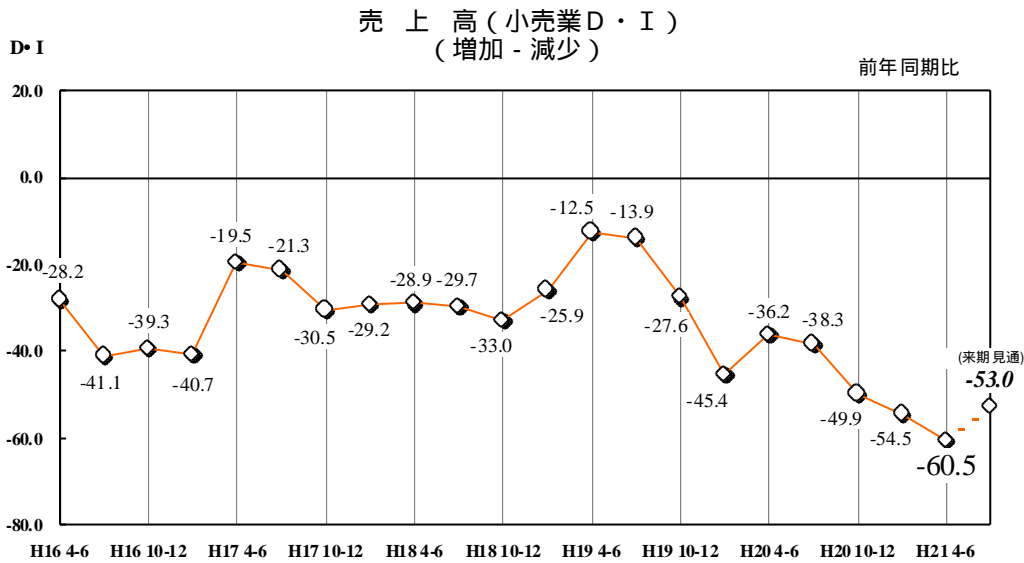


## その他（D・I値）

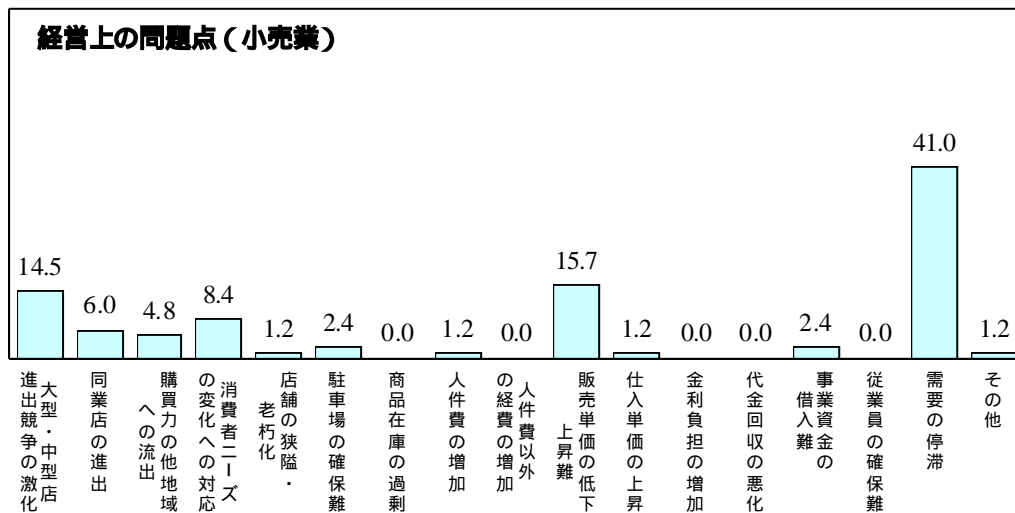
	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	32.8	25.7	31.4 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	12.5	14.3 (今期比)
短期 "	-----	7.6	8.0 (今期比)
商品在庫数量	39.9	-----	40.6 (前年同期比)

## (4) 小 売 業





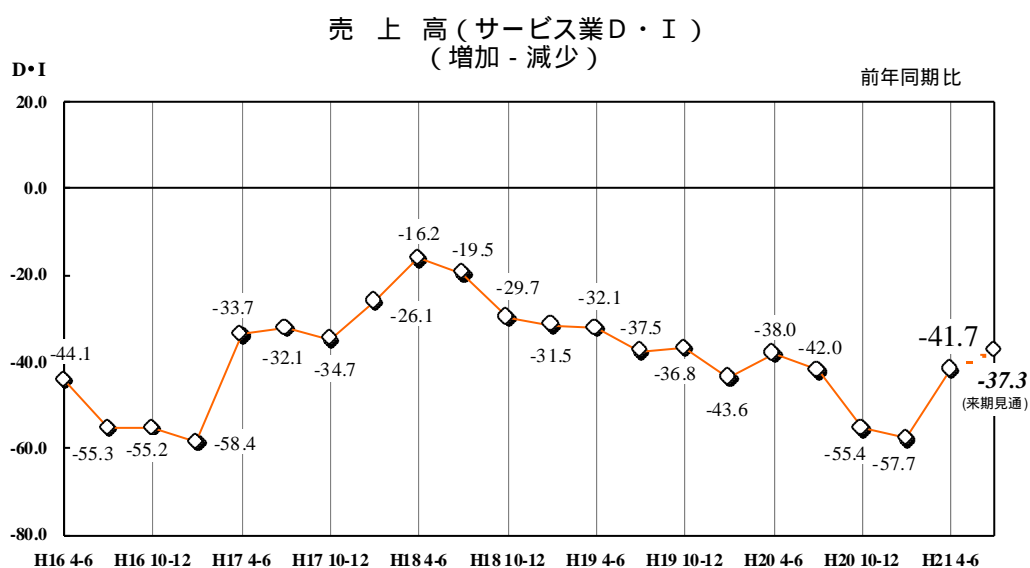
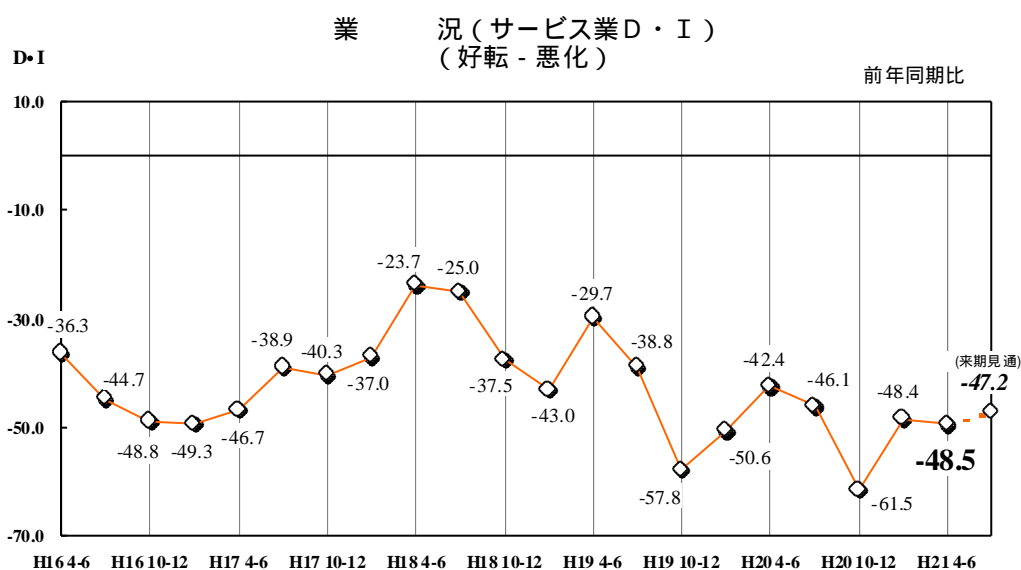
## 経営上の問題点



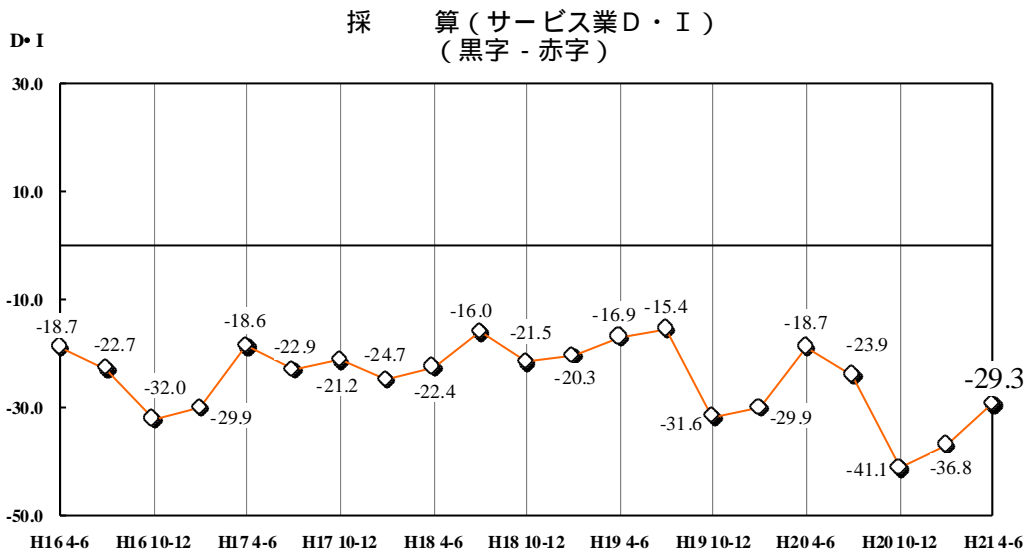
その他 (D・I値)

	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	36.9	39.8	39.8 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	24.3	25.4 (今期比)
短期 "	-----	22.2	20.6 (今期比)
商品在庫数量	31.4	-----	31.7 (前年同期比)

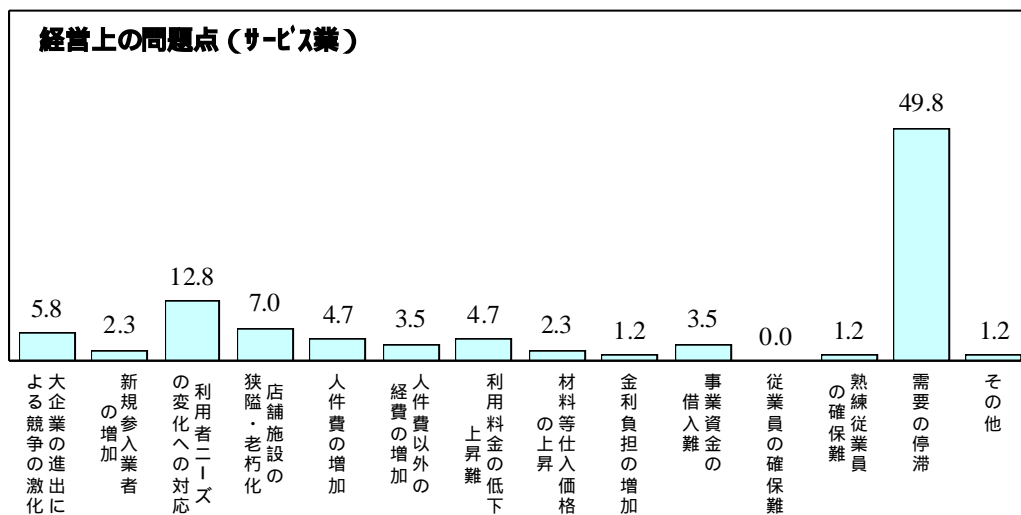
(5) サービス業







### 経営上の問題点



### その他 (D・I値)

	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	36.5	33.3	35.3 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	23.7	28.8 (今期比)
短期 "	-----	20.6	26.0 (今期比)
利 用 客 数	37.9	18.4	32.2 (前年同期比)

# 業種別調査資料

## 1. 製造業

(1) 今期の水準 (単位: %)

区分	今期(平成21年4月～6月)の水準			
	↑	↔	↓	D・I
業況(自社)	10.5	31.6	57.9	-47.4
生産に対する原材料在庫	11.1	83.3	5.6	5.5
売上に対する製品在庫	12.2	81.7	6.1	6.1
採算(経常利益)	12.1	46.5	41.4	-29.3
引合	8.8	40.4	50.8	-42.0
生産設備	12.7	76.4	10.9	1.8
従業員(含臨時・パート)	12.3	82.4	5.3	7.0

↑: 良い、過剰、黒字、活発  
 ↓: ぶつう、適正、収支トントン  
 ↘: 悪い、不足、赤字、低調

(2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区分	前年同期(平成20年4月～6月)に比べて				前期(平成21年1月～3月)に比べて				前年同期(平成20年4月～6月)と比べた 来期(平成22年4月～6月)の見通し			
	↑	↔	↓	D・I	↑	↔	↓	D・I	↑	↔	↓	D・I
A 売上(加工)額	16.9	33.9	49.2	-32.3	29.3	36.2	34.5	-5.2	13.8	36.2	50.0	-36.2
B 売上(加工)単価	6.8	62.7	30.5	-23.7	8.8	66.6	24.6	-15.8	3.4	67.3	29.3	-25.9
C 売上(加工)数量	19.0	31.0	50.0	-31.0	24.6	40.3	35.1	-10.5	8.8	36.8	54.4	-45.6
D 資金繰り	5.1	59.3	35.6	-30.5	5.3	70.1	24.6	-19.3	5.2	55.1	39.7	-34.5
E 輸出額	8.3	83.4	8.3	0.0					0.0	92.3	7.7	-7.7
F 原材料仕入単価	43.1	53.5	3.4	39.7					24.6	61.4	14.0	10.6
G 原材料在庫数量	9.1	67.3	23.6	-14.5					5.6	70.3	24.1	-18.5
H 製品在庫数量	6.4	72.3	21.3	-14.9					4.3	71.8	23.9	-19.6
I 採算(経常利益)	10.2	37.3	52.5	-42.3					10.3	41.4	48.3	-38.0
J 従業員(含臨時・パート)	7.0	73.7	19.3	-12.3					3.6	75.0	7.7	-17.8
K 外部人材(請負・派遣)	3.6	89.3	7.1	-3.5					0.0	80.0	20.0	-20.0
L 設備稼働率	10.9	49.1	40.0	-29.1					5.6	55.5	38.9	-33.3
M 引合	14.3	39.3	46.4	-32.1								
N 受注残	1.9	50.0	48.1	-46.2								
	11.9	39.0	49.1	-37.2	12.1	44.8	43.1	-31.0	8.5	38.3	53.2	-44.7
O 業況(自社)	前年同期(平成20年4月～6月)に比べて				前期(平成21年1月～3月)に比べて				今期(平成21年4月～6月)と比べた 来期(平成22年4月～6月)の見通し			
									13.6	47.4	39.0	-25.4
P 受取手形期間					2.6	97.4	0.0	2.6	2.6	97.4	0.0	2.6
Q 長期資金借入難度					5.9	70.6	23.5	-17.6	1.9	76.9	21.2	-19.3
R 短期資金借入難度(含手形割引)					4.0	76.0	20.0	-16.0	2.0	80.4	17.6	-15.6
S 借入金					11.8	72.5	15.7	-3.9	7.7	84.6	7.7	0.0

↑: 増加 (A, C, E, G, H, J, K, M, N)    ↗: 上昇    ↖: 好転    ↘: 長期化    ↙: 容易  
 ↓: 減少    ↔: 不変 (A, C, E, G, H, J, K, M, N)    ↘: 低下    ↖: 悪化    ↘: 短期化    ↙: 困難

(3) 新規設備投資

(単位: %)

区分	実施・計画している	実施・計画していない								
		土地	工場建物	生産設備	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他	
今期	16.9	0.0	0.0	70.0	20.0	10.0	10.0	10.0	20.0	83.1
来期	6.8	0.0	0.0	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	93.2

(4) 今期直面している経営上の問題点 (単位: %)

問題点	1位	1～3位
大企業の進出による競争の激化	3.8	9.4
新規参入業者の増加	0.0	1.9
製品ニーズの変化への対応	7.5	15.1
生産設備の不足・老朽化	1.9	9.4
生産設備の過剰	0.0	0.0
原材料価格の上昇	7.5	28.3
原材料の不足	0.0	3.8
人件費の増加	5.7	13.2
原材料費・人件費以外の経費の増加	1.9	9.4
製品(加工)単価の低下・上昇難	17.0	56.6
金利負担の増加	0.0	5.7
取引条件の悪化	3.8	22.6
事業資金の借入難	0.0	9.4
従業員確保の確保難	0.0	1.9
熟練技術者の確保難	3.8	9.4
需要の停滞	45.2	67.9
その他	1.9	5.7

## 2. 建設業

### (1) 今期の水準

(単位：%)

区分	今期(平成21年4月～6月)の水準			
	↗	↘	↖	D・I
業況(自社)	2.9	33.3	63.8	-60.9
採算(経常利益)	5.8	50.7	43.5	-37.7
引合	6.3	39.7	54.0	-47.7
従業員(含臨時・パート)	11.8	85.3	2.9	8.9

↗ : 良い、過剰、黒字、活発  
 ↘ : ぶつう、適正、収支トントン  
 ↖ : 悪い、不足、赤字、低調

### (2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区分	前年同期(平成20年4月～6月)に比べて				前期(平成21年1月～3月)に比べて				前年同期(平成20年4月～6月)と比べた 来期(平成22年4月～6月)の見通し			
	↗	↘	↖	D・I	↗	↘	↖	D・I	↗	↘	↖	D・I
A 完成工事(請負工事)額	10.0	28.6	61.4	-51.4	26.5	23.5	50.0	-23.5	14.3	28.6	57.1	-42.8
B 資金繰り	3.0	58.2	38.8	-35.8	7.5	58.2	34.3	-26.8	5.8	60.9	33.3	-27.5
C 受注(新規契約工事)額	12.9	30.0	57.1	-44.2					11.6	36.2	52.2	-40.6
D 材料仕入単価	36.2	56.6	7.2	29.0					30.9	54.4	14.7	16.2
E 採算(経常利益)	1.4	34.3	64.3	-62.9					7.2	33.3	59.5	-52.3
F 従業員(含臨時・パート)	4.3	70.0	25.7	-21.4					2.9	66.7	30.4	-27.5
G 外部人材(請負・派遣)	3.2	69.4	27.4	-24.2					4.9	65.6	29.5	-24.6
H 引合	3.2	42.9	53.9	-50.7								
I 契約残(未消化工事高)	4.6	33.8	61.6	-57.0								
	5.7	35.7	58.6	-52.9	13.0	46.4	40.6	-27.6	9.1	42.4	48.5	-39.4
J 業況(自社)	前年同期(平成20年4月～6月)に比べて				前期(平成21年1月～3月)に比べて				今期(平成21年4月～6月)と比べた 来期(平成22年4月～6月)の見通し			
K 受取手形期間					2.1	97.9	0.0	2.1	17.9	53.7	28.4	-10.5
L 長期資金借入難度					6.3	77.8	15.9	-9.6	4.8	79.3	15.9	-11.1
M 短期資金借入難度(含手形割引)					8.2	77.0	14.8	-6.6	6.6	77.0	16.4	-9.8
N 借入金					16.9	75.4	7.7	9.2	13.8	81.6	4.6	9.2

↗ : 増加  
 ↘ : 減少  
 ↖ : 上昇  
 ↗ : 好転  
 ↘ : 悪化  
 ↖ : 不変(A, C, F, G, H, I)  
 ↗ : 不変(D, N)  
 ↘ : 長期化  
 ↖ : 短期化  
 ↗ : 容易  
 ↘ : 困難

### (3) 新規設備投資

(単位：%)

区分	実施・計画している	実施・計画していない								
		土地	建物	建設機械	車両・運搬具	付帯施設	O A機器	福利厚生施設	その他	
今期	12.9	0.0	11.1	11.1	11.1	11.1	55.6	0.0	11.1	87.1
来期	8.6	0.0	16.7	16.7	50.0	16.7	0.0	0.0	16.7	91.4

### (4) 今期直面している経営上の問題点

(単位：%)

問題点	1位	1～3位
大企業の進出による競争の激化	2.9	13.2
新規参入業者の増加	4.4	10.3
材料単価の上昇	1.5	14.7
材料の入手難	0.0	2.9
人件費の増加	0.0	4.4
材料費・人件費以外の経費の増加	2.9	8.8
請負単価の低下・上昇難	29.4	69.1
下請単価の上昇	0.0	1.5
金利負担の増加	0.0	0.0
取引条件の悪化	7.4	23.5
事業資金の借入難	0.0	7.4
従業員の確保難	0.0	0.0
熟練技術者の確保難	1.5	1.5
下請業者の確保難	0.0	0.0
官公需要の停滞	20.6	57.4
民間需要の停滞	29.4	67.6
その他	0.0	1.5



## 4.小 売 業

### (1) 今期の水準

(単位：%)

区 分	今 期(平成21年 4月～ 6月)の水準				D・I
	↗	↔	↘	↘	
業 況 (自 社)	6.0	29.8	64.2	-58.2	
売 上 に 対 す る 原 材 料 在 庫	20.7	65.9	13.4	7.3	
採 算 (経 常 利 益)	2.4	50.6	47.0	-44.6	
従 業 員 (含 臨 時 ・ パ ー ト)	6.8	91.8	1.4	5.4	

↗ : 良い、過剰、黒字、活発  
↔ : ぶつう、適正、収支トントン  
↘ : 悪い、不足、赤字、低調

### (2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区 分	前年同期(平成20年 4月～ 6月)に比べて				前期(平成21年1月～3月)に比べて				前年同期(平成20年 4月～ 6月)と比べた 来 期(平成22年 4月～ 6月)の見通し			
	↗	↔	↘	D・I	↗	↔	↘	D・I	↗	↔	↘	D・I
A 売 上 額	9.3	20.9	69.8	-60.5	29.1	26.7	44.2	-15.1	8.2	30.6	61.2	-53.0
B 客 単 価	5.8	33.7	60.5	-54.7	15.3	42.3	42.4	-27.1	5.9	40.0	54.1	-48.2
C 客 数	8.2	37.6	54.2	-46.0	21.4	39.3	39.3	-17.9	9.5	40.5	50.0	-40.5
D 資 金 繰 り	1.2	60.7	38.1	-36.9	1.2	57.8	41.0	-39.8	3.6	53.0	43.4	-39.8
E 商 品 仕 入 単 価	16.3	53.5	30.2	-13.9					9.4	63.5	27.1	-17.7
F 商 品 仕 入 額	12.8	36.0	51.2	-38.4					9.4	38.8	51.8	-42.4
G 商 品 在 庫 数 量	5.8	57.0	37.2	-31.4					5.9	56.5	37.6	-31.7
H 採 算 (経 常 利 益)	7.1	34.1	58.8	-51.7					6.0	35.7	58.3	-52.3
I 従 業 員 (含 臨 時 ・ パ ー ト)	4.0	84.0	12.0	-8.0					2.7	90.5	6.8	-4.1
J 外 部 人 材 (請 負 ・ 派 遣)	0.0	95.8	4.2	-4.2					0.0	95.7	4.3	-4.3
K 業 況 (自 社)	7.1	28.6	64.3	-57.2	12.5	37.5	50.0	-37.5	6.0	37.3	56.7	-50.7
L 長 期 資 金 借 入 難 度									9.0	42.3	48.7	-39.7
M 短 期 資 金 借 入 難 度 (含 手 形 割 引)					0.0	75.7	24.3	-24.3	1.4	71.8	26.8	-25.4
N 借 入 金 利					0.0	77.8	22.2	-22.2	1.6	76.2	22.2	-20.6
					5.7	88.6	5.7	0.0	4.3	88.6	7.1	-2.8

↗ : 増加  
↔ : 不変 (A, C, F, G, I, J)  
↘ : 減少  
↗ : 上昇  
↔ : 不変 (B, E, N)  
↘ : 低下  
↗ : 好転  
↔ : 不変 (D, H, K)  
↘ : 悪化  
↗ : 容易  
↔ : 不変 (L, M)  
↘ : 困難

### (3) 新規設備投資

(単位：%)

区 分	実 施 ・ 計 画 し て い る	実 施 ・ 計 画 し て い な い								
		土 地	店 舗	販 売 設 備	車 両 ・ 運 搬 具	付 帯 施 設	O A 機 器	福 利 厚 生 施 設	そ の 他	
今 期	11.9	10.0	40.0	20.0	0.0	0.0	30.0	0.0	20.0	88.1
来 期	7.1	16.7	33.3	50.0	16.7	16.7	16.7	0.0	16.7	92.9

### (4) 今期直面している経営上の問題点

(単位：%)

問 題 点	1 位	1～3位
大・中型店の進出による競争の激化	14.5	30.1
同業者の進出	6.0	10.8
購買力の他地域への流出	4.8	20.5
消費者ニーズの変化への対応	8.4	31.3
店舗の狭隘・老朽化	1.2	8.4
駐車場の確保難	2.4	4.8
商品在庫の過剰	0.0	6.0
人件費の増加	1.2	6.0
人件費以外の経費の増加	0.0	8.4
販売単価の低下・上昇難	15.7	48.2
仕入単価の上昇	1.2	7.2
金利負担の増加	0.0	4.8
代金回収の悪化	0.0	6.0
事業資金の借入難	2.4	10.8
従業員確保難	0.0	1.2
需要の停滞	41.0	63.9
その他	1.2	4.8

## 5. サービス業

### (1) 今期の水準

(単位：%)

区 分	今 期(平成21年 4月～ 6月)の水準			
	↗	↘	↔	D・I
業 況(自 社)	7.9	34.8	57.3	-49.4
採 算(経常利益)	15.7	39.3	45.0	-29.3
従 業 員(含臨時・パート)	8.9	79.7	11.4	-2.5

↗ : 良い、過剰、黒字、活発  
 ↘ : ふつう、適正、収支トントン  
 ↔ : 悪い、不足、赤字、低調

### (2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区 分	前年同期(平成20年 4月～ 6月)に比べて				前期(平成21年1月～3月)に比べて				前年同期(平成20年 4月～ 6月)と比べた 来 期(平成22年 4月～ 6月)の見通し			
	↗	↘	↔	D・I	↗	↘	↔	D・I	↗	↘	↔	D・I
A 売 上 ( 収 入 ) 額	14.3	29.7	56.0	-41.7	26.4	29.7	43.9	-17.5	9.9	42.9	47.2	-37.3
B 客 単 価	4.6	54.0	41.4	-36.8	6.9	59.8	33.3	-26.4	4.7	53.4	41.9	-37.2
C 利 用 客 数	13.8	34.5	51.7	-37.9	20.7	40.2	39.1	-18.4	11.5	44.8	43.7	-32.2
D 資 金 繰 り	3.5	56.5	40.0	-36.5	6.0	54.7	39.3	-33.3	4.7	55.3	40.0	-35.3
E 仕 入 単 価 ( 材 料 等 )	35.3	55.3	9.4	25.9					25.9	62.3	11.8	14.1
F 採 算 ( 経 常 利 益 )	5.6	39.3	55.1	-49.5					6.7	38.9	54.4	-47.7
G 従 業 員 ( 含 臨 時 ・ パ ー ト )	11.1	69.1	19.8	-8.7					7.5	71.2	21.3	-13.8
H 外 部 人 材 ( 請 負 ・ 派 遣 )	5.2	70.7	24.1	-18.9					3.4	72.9	23.7	-20.3
I 業 況 ( 自 社 )	7.9	34.8	57.3	-49.4	15.6	40.0	44.4	-28.8	9.0	34.8	56.2	-47.2
L 長 期 資 金 借 入 難 度					6.3	63.7	30.0	-23.7	5.0	61.2	33.8	-28.8
M 短 期 資 金 借 入 難 度 ( 含 手 形 割 引 )					6.8	65.8	27.4	-20.6	5.5	63.0	31.5	-26.0
N 借 入 金 利					10.4	76.6	13.0	-2.6	11.7	79.2	9.1	2.6

↗ : 増加  
 ↘ : 減少  
 ↔ : 増加  
 ↘ : 低下  
 ↔ : 好転  
 ↘ : 悪化  
 ↔ : 容易  
 ↘ : 困難

### (3) 新規設備投資

(単位：%)

区 分	実施・計画 している	実施・計画 していない								
		土 地	建 物	サ-ビス設備	車両・運搬具	付帯施設	O A機器	福利厚生施設	そ の 他	
今 期	19.1	0.0	5.9	17.6	23.5	29.4	47.1	0.0	11.8	80.9
来 期	5.6	40.0	60.0	20.0	60.0	20.0	20.0	0.0	0.0	94.4

### (4) 今期直面している経営上の問題点

(単位：%)

問 題 点	1 位	1～3位
大企業の進出による競争の激化	5.8	12.8
新規参入業者の増加	2.3	9.3
利用者ニーズの変化への対応	12.8	40.7
店舗施設の狭隘・老朽化	7.0	9.3
人件費の増加	4.7	15.1
人件費以外の経費の増加	3.5	10.5
利用料金の低下・上昇難	4.7	39.5
材料等仕入単価の上昇	2.3	17.4
金利負担の増加	1.2	4.7
事業資金の借入難	3.5	15.1
従業員の確保難	0.0	4.7
熟練従業員の確保難	1.2	15.1
需要の停滞	49.8	72.1
その他	1.2	7.0